

令和6年度 事務事業

教育に関する事務の管理及び 執行状況の点検・評価報告書

令和7年9月(議会報告)

豊後大野市教育委員会

目 次

I はじめに	P3
II 教育委員会の活動報告	
1. 教育委員名簿（令和7年3月31日現在）	P4
2. 教育委員会の活動報告	P4
(1) 教育委員会の会議	p4～7
① 定例会 ② 臨時会	
III 事務事業の管理及び執行状況の点検・評価の方法	
1. 昨年度の外部評価アドバイザーからの意見	P7～10
2. 点検・評価対象事務事業	P11～14
3. 自己点検・評価と総合点検・評価	P14～15
IV 事務事業の管理及び執行状況の点検・評価結果と分析、今後の方向性、外部評価	
1. 点検・評価結果・外部評価	P15～63
2. 点検・評価結果の分析	P64～65
(1) 自己点検・評価結果の分析	p64
(2) 総合点検・評価結果の分析	p65
3. 外部評価関係	P66
V まとめ	P66～68

＜参照資料＞ **別冊資料** 令和7年度 総合計画実施計画書/事務事業評価調書

学校教育課

P 355～ P 402 に記載しています。

社会教育課

令和7年第3回豊後大野市議会定例会議案

I はじめに

教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会が取り組んだ教育に関する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し公表しています。

これは、教育委員会が自ら事務を点検、評価することによって、効果的な教育行政を推進し、住民への説明責任を果たすことを目的にしています。

また、本報告書では効果的な教育行政に資するために外部評価アドバイザーにご意見をいただきながら、令和6年度の教育委員会の活動報告及び実施した施策全般に関して、点検・評価を行った結果を報告いたします。

令和7年9月

豊後大野市教育委員会

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号) (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

= 適用条文 =

(事務の委任等)

第25条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

2 (略)

3 (略)

4 教育長は、第1項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員(以下この項及び次条第1項において「事務局職員等」という。)に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

Ⅱ 教育委員会の活動報告

1. 教育委員名簿（令和7年3月31日現在）

（敬称略）

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	任 期
教 育 長	下 田 博	平成29年6月13日	令和5年6月13日 ～ 令和8年6月12日
教育長職務代理者 （ 教 育 委 員 ）	三 浦 絵 里 奈	令和4年5月31日	令和4年5月31日 ～ 令和8年5月30日
教 育 委 員	渡 部 稔	令和3年5月31日	令和3年5月31日 ～ 令和7年5月30日
教 育 委 員	妻 城 久 子	令和5年5月31日	令和5年5月31日 ～ 令和9年5月30日
教 育 委 員	工 藤 聖 朗	令和6年5月31日	令和6年5月31日 ～ 令和10年5月30日

（注）渡部稔委員と三浦絵里奈委員は、保護者代表という立場から就任しています。

（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第5項）

2. 教育委員会の活動報告

（1）教育委員会の会議

教育委員会の会議は、毎月 of 定例会に加え、必要に応じて臨時会を開催して、豊後大野市教育委員会事務委任規則に基づく事項のほか必要な事項の報告・協議・審議を行っています。令和6年度は、年間12回の定例会のほか5回の臨時会を開催（合計/17回）し、26件の報告事項、1件の協議事項、43件の議事案件、1件の指定事項（合計/71件）について報告・協議・審議・指定を行いました。

＜令和6年度 教育委員会における議事案件(43件)の内容別・会議別内訳＞

内 容 区 分	議 事 案件数	会議別内訳	
		定例会 (件)	臨時会 (件)
教育に関する事務の管理及び執行の基本方針に関すること	4	3	1
教育委員会の委員構成に関すること	1	0	1
事務局職員及び教職員の人事に関すること	2	0	2
教育委員会規則・規程・要綱等の制定又は改廃に関すること	15	15	0
法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱に関すること	16	14	2
条例・予算その他議会の議決を経るべき議案に対する意見申出	4	4	0
その他教育に係る事務に関すること	1	1	0
計	43	37	6

① 定例会

定例会では、次の付議事項等のほか、教育長と各課からそれぞれ事業報告を行っています。

◇4月定例会

R6 .4.26	報告第 7号	豊後大野市立学校文書取扱規程の全部改正について
R6 .4.26	議案第25号	豊後大野市立学校における学校運営協議会委員の任命について
R6 .4.26	議案第26号	豊後大野市体育施設条例の一部改正について
R6 .4.26	議案第27号	豊後大野市公民館生涯学習活動団体登録要綱の一部改正について
R6 .4.26	議案第28号	豊後大野市図書館協議会委員の任命について
R6 .4.26	議案第29号	豊後大野市社会教育委員の委嘱について
R6 .4.26	議案第30号	豊後大野市公民館運営審議会の委員の委嘱について

◇5月定例会

R6 .5.31	報告第 8号	令和6年度豊後大野市学校児童生徒の就学援助の認定審査結果について
R6 .5.31	議案第32号	豊後大野市立学校職員の公務旅行における自家用車使用に関する取扱要領の一部改正について
R6 .5.31	議案第33号	豊後大野市学校給食運営委員会委員の委嘱について
R6 .5.31	議案第34号	豊後大野市体育施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について

◇6月定例会

R6 .6.25	報告第 9号	議会関連の報告について
R6 .6.25	報告第10号	令和6年度豊後大野市学校児童生徒の就学援助の認定審査結果について
R6 .6.25	議案第35号	豊後大野市地域学校協働活動推進員の委嘱について

◇7月定例会

R6 .7.31	報告第11号	議会関連の報告について
R6 .7.31	報告第12号	令和6年度豊後大野市学校児童生徒の就学援助の認定審査結果について
R6 .7.31	報告第13号	令和6年度大分県学力定着状況調査結果について
R6 .7.31	議案第36号	令和7年度使用小・中学校教科用図書の採択について

◇8月定例会

R6 .8.27	報告第14号	令和6年度豊後大野市学校児童生徒の就学援助の認定審査結果について
----------	--------	----------------------------------

◇9月定例会

R6 .9.27	報告第15号	豊後大野市職員懲戒取扱規程の一部改正について
R6 .9.27	報告第16号	豊後大野市いじめ対策委員会委員の任命について
R6 .9.27	報告第17号	令和6年度豊後大野市学校児童生徒の就学援助の認定審査結果について
R6 .9.27	議案第40号	小学校教師用指導書等の購入に係る財産の取得について
R6 .9.27	議案第41号	小学校教師用指導書の購入に係る財産の取得について
R6 .9.27	議案第42号	豊後大野市学校給食共同調理場運営規程の一部改正について
R6 .9.27	議案第43号	豊後大野市立学校児童生徒就学援助規則の一部改正について
R6 .9.27	議案第44号	豊後大野市立学校就学援助事務取扱規程の一部改正について

◇10月定例会

R6.10.25	報告第18号	豊後大野市教育委員会教育長表彰について
R6.10.25	議案第45号	豊後大野市旧千歳小学校・旧千歳幼稚園跡地利用事業者選定プロポーザル審査委員会設置要綱の制定について
R6.10.25	議案第46号	豊後大野市立学校管理運営規則の一部改正について

◇11月定例会

R6.11.25	報告第19号	三重学校給食共同調理場調理機器の購入にかかる契約について
R6.11.25	報告第20号	令和6年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査結果について
R6.11.25	議案第47号	豊後大野市就学支援委員会規則の一部改正について
R6.11.25	議案第48号	豊後大野市就学支援委員会委員の委嘱について

◇12月定例会

R6.12.25	報告第22号	令和7年度豊後大野市立幼稚園の開園予定について
R6.12.25	報告第23号	令和6年度豊後大野市児童生徒の就学援助の認定審査結果について
R6.12.25	議案第49号	豊後大野市立学校職員旧姓使用取扱規程の制定について
R6.12.25	議案第50号	豊後大野市旧千歳小学校・旧千歳幼稚園跡地利用事業者選定プロポーザル審査委員会委員の委嘱について
R6.12.25	議案第51号	豊後大野市旧清川小学校跡地利用事業者選定プロポーザル審査委員会設置要綱の制定について

◇1月定例会

R7. 1.28	報告第 1号	豊後大野市体育施設使用料金のコンビニ収納事務委託について
R7. 1.28	報告第 2号	令和6年度豊後大野市児童生徒の就学援助の認定審査結果について
R7. 1.28	協議事項	大分少年院視察委員会委員候補者の推薦について
R7. 1.28	議案第 1号	令和7年度学校教育基本方針について
R7. 1.28	議案第 2号	豊後大野市収蔵庫設置計画について

◇2月定例会

R7. 2.12	報告第 3号	多機能型武道場整備に係る財産の取得について
R7. 2.12	報告第 4号	豊後大野市教育委員会教育長表彰について
R7. 2.12	報告第 5号	令和6年度豊後大野市児童生徒の就学援助(新入学学用品費)の認定審査結果について
R7. 2.12	議案第 3号	令和7年度社会教育基本方針について
R7. 2.12	議案第 4号	豊後大野市旧教育集会所整備補助金交付要綱(内規)の制定について
R7. 2.12	議案第 5号	豊後大野市図書館条例施行規則の一部を改正する規則について
R7. 2.12	議案第 6号	豊後大野市資料館条例施行規則の一部を改正する規則について
R7. 2.12	議案第 7号	一般会計予算(当初予算等/教育委員会分)について

◇3月定例会

R7. 3.21	報告第 7号	令和6年度豊後大野市学力調査結果について
R7. 3.21	報告第 8号	令和6年度豊後大野市児童生徒の就学援助(新入学学用品費)の認定審査結果について
R7. 3.21	議案第10号	豊後大野市学校給食共同調理場運営規程の一部改正について
R7. 3.21	議案第11号	豊後大野市学校給食運営委員会規則の一部改正について
R7. 3.21	議案第12号	豊後大野市社会教育委員の委嘱について
R7. 3.21	議案第13号	豊後大野市公民館運営審議会の委員の委嘱について
R7. 3.21	議案第14号	豊後大野市地域学校協働活動推進員の委嘱について
R7. 3.21	議案第15号	豊後大野市スポーツ推進委員の委嘱について

R7. 3.21	議案第16号	豊後大野市図書館協議会委員の任命について
----------	--------	----------------------

② 臨時会 (注) 臨時会の開催回数は、暦年で計数するため当初開催が第1回とはなりません。

◇第3回臨時会

R6. 5.31	指定第 1号	豊後大野市教育委員会教育委員の議席指定について
R6. 5.31	議案第31号	豊後大野市教育委員会教育長職務代理者の指名について

◇第4回臨時会

R6. 8.20	報告第13号	教育行政用パソコン更新に係る財産の取得について
R6. 8.20	議案第37号	令和5年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について
R6. 8.20	議案第38号	豊後大野市教育未来ゆめ基金条例の制定について
R6. 8.20	議案第39号	公の施設の指定管理者の指定について

◇第5回臨時会

R6.12.12	報告第21号	大分県教育委員会への内申について
----------	--------	------------------

◇第1回臨時会

R7. 3. 3	報告第 6号	豊後大野市教育委員会教育長表彰(追加)について
R7. 3. 3	議案第 8号	令和7年3月末教職員人事異動の一括内申について

◇第2回臨時会

R7. 3.21	議案第 9号	豊後大野市教育委員会事務局職員の任免及び人事異動について
----------	--------	------------------------------

Ⅲ 事務事業の管理及び執行状況の点検・評価の方法

1. 昨年度の外部評価アドバイザーからの意見

【全体的な評価について】

- ◇各課が所管する事業は、教育大綱及び教育委員会の基本方針に基づき、様々な情勢に対応しながら適切に実施されています。また、現場の実態や問題点等を把握するため、学校や社会教育施設への訪問等も計画的に実施されており、それに基づいた「自己点検・総合点検の評価結果の分析」は真摯に評価がなされていると思います。
- ◇国や県から毎年のように新たな施策が提起されますが、市教育委員会の職員、学校の教職員はそれを真摯に受け止め、限られた人員の中で着実に実行しているようです。気になるのは職員の労働負担過重です。様々な教育課題への対応は、適切な人的配置や事業の見直しなどにより業務の負担軽減を行うことが大切だと思います。今後とも必要な職員の定数を確実に配置するなどして、職員の健康が保たれ笑顔で働けるよう更なる快適な職場環境づくりを期待します。
- ◇「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地域の実情や様々なニーズに適切に対応しながら、着実に事業を推進していることに、敬意を表します。今後とも、地域の児童生徒の健やかな成長のためにご支援をよろしくお願い致します。
- ◇「子どもの学び」を保障し、子どもの成長を地域と支援していく市の取組は、地域の活

性化を進めていく上でも、非常に重要と考えます。そのため、市教委や教職員の活動がとて重要となってきました。毎年、多岐にわたる事業が計画されていますが、目標に向かって確実に実行し、成果を上げていくことは非常に難しいように感じます。また、職員への負担は、かなり大きいのではないかと感じます。急な職員の増員は難しいと思いますが、今後とも市会計年度任用職員の配置等による負担軽減や環境改善を強く望みます。なにより職員が健康で働くことができる環境が、教育の質的向上に繋がると思いますので、積極的な取組をお願いします。

【学校教育課の実施事業について】

〈教育振興事業〉

- ◇学校訪問時に感じるのですが、「確かな学力の育成」を掲げ、その実現に向けた授業改善(課題とまとめのある授業)の徹底等、全教職員の共通理解の上で行っている姿を目にします。教育委員会と学校現場が一体となった着実な取組となっていることを感じます。
- ◇令和6年度より、市内5校で小中一貫教育が本格的に始動されました。実際に地域に住む市民の一人として、また親として、行政・学校・地域・保護者が一体となり、地域に学校を残し、子どもたちを育てていくという意識が、さらに強くなったように感じます。今後、三重町の小中一貫教育校設置にむけて、苦労や課題もあると思いますが、豊後大野市の人づくりをお願いします。
- ◇小中一貫教育について、令和6年度には三重町以外で設置され、確実に進んでいることを確認できました。地域とともにある学校づくりのための小中一貫教育の推進は賛成です。今後、一層の推進・充実を図るためには、市民への理解がもっと必要であると思います。特に三重町は分散型ということで、小中一貫のイメージがしづらいです。学校や地域の意見を十分にふまえ、来年度設置に向けて十分な準備をお願いします。学校からの情報や市報を通じての発信は、今後の方向性を含めた内容を継続的に広くおこなう必要があると思います。
- ◇キャリア教育の取組は、自分の生まれた土地を知り、その上で自分の未来を考える、とてもよい事業だと感じます。今後は拡充の方針ですので、さらに充実した事業となるよう期待します。
- ◇特色ある学校づくりはこれまで各学校がそれぞれの取組をしていたと思うが、キャリア教育の中に統合された。特色ある学校づくりもキャリア教育も大事な取組のため、それぞれで更なる推進をお願いしたい。

〈小中学校 ICT 環境整備事業〉

- ◇GONちゃんの活用は、魅力ある授業のツールとして評判がよく効果が期待されます。今後とも現場の教職員の負担も考慮しつつ、研修機会を増やすなどして学校間格差が生じないよう計画的な研修を望みます。
- ◇GONちゃんには本当に魅力ある授業ツールとして活用されていると、事あるごとに感じます。更なる活用を期待しています。

〈教育支援センター運営事業〉

- ◇不登校の児童生徒に対する支援は多岐にわたるものがあると思います。現場の教職員の方々の健やかな環境づくりも配慮いただければと思います。

〈小学校一般管理事業〉・〈中学校一般管理事業〉・〈幼稚園一般管理事業〉

- ◇昨今の気候変動により、各学校では市のガイドラインにより熱中症対策が取られています。迅速な対応は、安心・安全の確保につながり大いに評価します。
- ◇学校訪問時に感じるのですが、各教室はエアコンが設置されているようですが、特別教室（家庭科室、理科室等）は未設置の学校があるようです。調理実習や理科の実験等は子どもたちの学びにとって大切なことです。特別教室にもエアコンの設置を期待します。
- ◇財政状況が厳しい中、年度当初より臨時講師や援助員等の会計年度任用職員を可能な限り、配置していることを大いに評価します。児童生徒の成長・学力保障に大きく寄与していると思います。全国的に教職員不足が問題になっており、特に年度途中の欠員補充は困難が予想されます。今後も最大限の予算確保は勿論のこと、人材確保もあわせて行うよう期待します。
- ◇学校施設の維持管理については、草刈り作業等の予算は少なく、環境美化の為に PTA や職員作業等で行っているのが現状のようです。職員の負担軽減のためにも十分な予算措置を期待します。
- ◇廃園、廃校になった園舎、校舎の有効活用を望みます。
- ◇虫歯予防につながるフッ化物洗口事業は、継続的な取組により一定の成果上げていることを評価します。今後も保護者への説明を通して希望者が増えることを期待します。

〈中学校教育振興事業〉

- ◇部活動の資質向上及び教職員の負担軽減を図るため、部活動指導員を1名雇用し、成果を上げています。今後は、部活動の「地域移行」の対策が求められている中、人員増は勿論のこと人材育成も併せて行うよう期待します。

〈給食共同調理場運営事業〉

- ◇食育の推進とともに給食の安定供給を望みます。

【社会教育課の事務事業について】

〈青少年健全育成事業〉

- ◇放課後子ども教室事業について、新聞などで、よく目にします。地域の方々と交流しながら、学校や家庭とは違った体験をすることで、心豊かな子どもの育成が図られていると思います。

〈公民館管理運営事業〉

- ◇指定管理制度が導入されたことにより、さらに魅力ある公民館づくりがなされていると感じています。さらに市や社会教育課と連携していくことを期待しています。
- ◇指定管理者制度のスムーズな導入により魅力ある公民館づくりがなされていると感じます。学習の成果を発表する「各町の生涯学習まつり」の様子をケーブルテレビで放映していることは、市民の生涯学習意欲を喚起することになり大いに評価します。これからも社会教育課と指定管理者の連携を密にして公民館が生涯学習の拠点として一層発展することを期待します。
- ◇自治公民館への環境整備補助率の増額は、地域住民の更なる集いと学びの拠点となり、大いに評価します。

〈人権教育・部落差別解消推進事業〉

- ◇人権を学ぶ子ども会事業は、小・中・高校生があらゆる差別の実態を学ぶことにより、差別を見抜き、差別を解消するための実践力のある子どもの育成に寄与しています。今後も推進体制の維持や人員配置等について一層の配慮を期待します。

〈資料館運営事業〉

- ◇「ジオパークミュージアム」の呼称変更や資料館の内容の充実が入館者数に表れているようです。今後とも貴重な歴史資料の発掘や収集、魅力ある企画展示等を期待します。また、資料館を訪れることが困難な人たちに対して、ケーブルテレビ(ジオパーク情報局)等での情報発信は大切なことであり、大いに評価します。

〈文化財保護事業〉

- ◇「緒方川と緒方盆地の農村景観」が、国重要文化的景観に選定されたことを受け、シンポジウムや市報への掲載、ケーブルテレビ等での周知活動は大いに評価します。今後も貴重な文化財の新たな指定や発掘を期待します。

〈図書館管理運営事業〉

- ◇講座、ワークショップ、お話会等を開催し、利用促進に取り組まれていて素晴らしいと思います。今後、図書館に行けない方へのサービス等が充実してくることを期待しています。
- ◇図書館の内容や運営が充実しておりとても利用しやすいと感じます。また、図書館館外配送の開始は、遠距離や交通の不便さ等から利用できない方へのサービスとして、住民の読書環境の改善になっており今後も更なる充実を期待します。

〈スポーツ推進総務事業〉

- ◇中学校の運動部活動の地域移行についてスポーツ庁より具体案が示されています。今後も学校教育課・総合型地域スポーツクラブ等との連携を密にし、スムーズに地域移行ができますよう期待します。

2. 点検・評価対象事務事業

本市教育委員会では、市が策定した第2次豊後大野市総合計画(平成28～令和7年度)に併せて、国の教育振興基本計画及び大分県総合教育計画等を踏まえた「第4次豊後大野市総合教育計画(令和3～令和7年度)」を策定しています。その中で、**～郷土を愛し、つどい、つながり、ふれあい、学び合い、次世代へ未来を拓く、豊後大野の人づくり～** を目標に掲げて、3項目の大きな施策体系を定め、その施策体系ごとに具体的な個別施策を掲げています。その施策に基づき、教育委員会事務局で事務事業を実施しています。点検・評価の対象となる事務事業は、予算・決算の実施計画事業ごとに評価しています。

また、昨年度の外部評価アドバイザーからの意見を参考にして、どのような取組が実施されたか、検証を行いました。

<第4次 豊後大野市総合教育計画の施策体系>

- I 協働によるまちづくりの推進** 1. 市民が主体の教育行政を推進する
- II 学校教育の充実**
 - 1. 3次元空間で豊後大野っ子を育てる
 - 2. 地域との連携を強化する
 - 3. 7つの柱で、多面的な学校教育係を推進する
 - 4. 教職員がいきいきと働き続けられる環境を整備する
 - 5. 高等学校を支援する
- III 社会教育の充実**
 - 1. 若年から高齢者まで、さまざまな年代への学びを提供する
 - 2. 学校・家庭・地域の連携・協働による「協育」ネットワークを構築する
 - 3. 7つの柱で、多面的な社会教育を推進する

▼ 令和6年度予算・決算における事務事業及び実施計画事業一覧表【評価対象事業】 ▼

課名	大事業	細事業	実施計画事業	
学校教育課 大事業 9 実施計画事業 21	1 教育振興事業	学校教育力向上対策事業	1	学校教育力向上対策事業
		教育振興事業	2	スクールソーシャルワーカー活用事業
		教育振興事業	3	小中一貫コーディネーター活用事業
		外国語指導助手事業	4	外国語指導助手事業
		教育バス運行管理事業	5	教育バス運行管理事業
		キャリア教育推進事業	6	キャリア教育推進事業
	2 小中学校 I C T 環境整備事業	小中学校 I C T 環境整備事業	7	小中学校 I C T 環境整備事業

	3	教育支援センター 運営事業	教育支援センター運営事業	8	学校教育指導員活用事業
			教育支援センター運営事業	9	かじか教室運営事業
			教育支援センター運営事業	10	教育支援コーディネーター活用事業
	4	小学校一般管理 事業	小学校一般管理事業	11	臨時講師活用事業
			フッ化物洗口推進事業	12	フッ化物洗口推進事業
	5	小学校教育振興 事業	小学校教育振興事業	13	小学校教育振興事業
			理科教育設備等整備事業	14	理科教育設備等整備事業
	6	中学校一般管理 事業	中学校一般管理事業	15	臨時講師活用事業
			フッ化物洗口推進事業	16	フッ化物洗口推進事業
	7	中学校教育振興 事業	中学校教育振興事業	17	部活動指導員活用事業
			中学校教育振興事業	18	中学校教育振興事業
			理科教育設備等整備事業	19	理科教育設備等整備事業
	8	幼稚園一般管理 事業	幼稚園一般管理事業	20	幼稚園教諭（会計年度）活用事業（地 域子ども・子育て支援分）
	9	給食共同調理場 運営事業	給食共同調理場運営事業	21	給食共同調理場運営事業

課名	大事業	細事業	実施計画事業	
社会教育課 大事業 9 実施計画事 業	1	社会教育総務事業	1	P T A 連合会補助事業
		社会教育総務事業	2	女性団体等活動費補助事業
	2	子ども文化・芸能事業	3	子ども文化・芸能事業
		放課後子ども教室事業	4	放課後子ども教室事業
		二十歳を祝う会	5	二十歳を祝う会

27		中学校国際交流事業	6	中学校国際交流事業
		青少年健全育成大会事業	7	青少年健全育成大会事業
	3 公民館管理運営事業	公民館運営事業	8	公民館運営事業
		自治公民館整備支援事業	9	自治公民館整備支援事業
		公民館等指定管理事業	10	公民館等指定管理事業
	4 人権教育・部落差別解消推進事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業	11	人権教育・部落差別解消推進講座事業
		人権を学ぶ子ども会事業	12	人権を学ぶ子ども会事業
		人権を学ぶ子ども会事業	13	高校生人権学習会事業
		人権教育総合推進地域事業	14	人権教育総合推進地域事業
	5 資料館運営事業	資料館運営事業	15	資料館運営事業
	6 文化財保護事業	指定文化財等調査保護事業（単独）	16	指定文化財等調査保護事業（単独）
		国宝重要文化財等保存整備費事業（文化的景観）	17	国宝重要文化財等保存整備費事業（文化的景観）
	7 図書館管理運営事業	図書館館外事業	18	館外配送事業
		図書館館内事業	19	図書購入事業
		図書館教育事業	20	図書館教育事業
		図書館運営事業	21	図書館運営事業
	8 スポーツ推進総務事業	スポーツ推進総務事業	22	各地区スポーツ振興会補助事業
		スポーツ推進総務事業	23	スポーツ協会補助事業
		スポーツ推進総務事業	24	各種スポーツ大会出場補助事業
		スポーツ推進総務事業	25	総合型地域スポーツクラブ活動支援補助事業

		スポーツ推進総務事業	26	スポーツ推進委員
	9	スポーツ施設管理事業	27	大原総合体育館指定管理委託事業

▼ 主管課別評価対象事務事業数及び細事業数【評価対象事業】 ▼

主管課	大事業数	実施計画事業数
学校教育課	9 大事業	21 細事業
社会教育課	9 大事業	27 細事業
計	18 大事業	48 細事業

3. 自己点検・評価と総合点検・評価

まず、市長部局の事務事業評価調書の基準によって自己点検・評価（課長評価）を行い、その後総合評価を行いました。

（1）自己点検・評価（課長評価）

自己点検・評価（課長評価）は、係長が評価5項目の判断を5～1の評点で行ったものを、課長の視点で改めて評価を行ったものです。

【自己点検・評価の評価項目と主な着眼点 5点評価】

評価項目	主 な 着 眼 点
1.	☞ 市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか
2.	☞ 事業の優先度は高いと思うか（同じ成果資料設定事業内での優先度）
3.	☞ 事業計画どおりに事業を進めることができたか
4.	☞ 活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか
5.	☞ 成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか



【自己点検・評価】

評価項目番号	評 価 点	1 → 2 → 3 → 4 → 5
1.		なっていない ⇒ なっている
2.		優先度が低い ⇒ 優先度が高い
3.		できなかった ⇒ できた
4.		推移していない ⇒ 推移した
5.		推移していない ⇒ 推移した

※自己点検・評価の最高評価点数は、評価項目5項目が全て満点の場合25点となります。

(2)総合点検・評価(管理職評価)

総合点検・評価は、教育長及び教育委員会管理職で構成する教育委員会所管事務事業内部評価会議により、主管課の自己点検・評価結果を検証した後に、成果目標の有無により区分して今後の方向性について9段階で評価を行いました。

【総合点検・評価】

評価項目	評価内容(今後の事業の方向性について)
A	現状のままで継続
B-1	見直しの上で継続(拡充)
B-2	見直しの上で継続(手段等の改善)
B-3	見直しの上で継続(効率化・RPA等)
B-4	見直しの上で継続(縮小)
B-5	見直しの上で継続(統合)
C	終了
D	休止
E	廃止

IV 事務事業の管理及び執行状況の点検・評価結果と分析、今後の方向性、外部評価

1. 点検・評価結果

次のとおり、教育委員会所管48実施計画事業の自己点検・評価を行ないましたので自己点検評価結果及び総合点検評価結果を報告します。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	教育振興事業	細事業	学校教育力向上対策事業
実施計画事業	学校教育力向上対策事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

児童生徒一人ひとりを大切にするきめ細かな指導による確かな学力の育成と教職員の指導力の向上を目指すもの。

2.当該年度の取組内容(計画)

・豊後大野市学校教育基本方針のグランドポスターの作成 ・家庭教育力UPリーフレットの作成
 ・小学生(5・6年)、中学生(1・2年)を対象とした学校生活における満足度や意欲等についての学級集団診断の実施 ・小中学生(中学校3年生を除く)の学力テストの実施
 ・学校教育力向上のための研修

3.主な活動実績

・豊後大野市学校教育基本方針のグランドポスターの作成 ・家庭教育力UPリーフレットの作成
 ・小学生(5・6年)、中学生(1・2年)を対象とした学校生活における満足度や意欲等についての学級集団診断の実施(年1回)
 ・小中学生(中学校3年生を除く)の学力テストの実施(年1回)
 ・学校教育力向上のための研修(年2回)

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	270			270	0
当初予算	2,705			600	2,105
決算額	2,255			600	1,655

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	グランドポスターの作成	回数(年1回の作成)	目標値	1	回
			実績値	1	
			達成率	100	
活動指標	学級集団診断の実施	回数(中学1年生に対して年1回の実施)	目標値	1	回
			実績値	1	
			達成率	100	
成果指標	学力の分析の実施率	学校教育力向上の状況分析18校の実施率	目標値	100	%
			実績値	100	
			達成率	100	

6.担当課の所見

教育委員会から地域に向けた情報発信、学校生活に対する調査・分析や学力テストの実施、指導主事による学校教育力向上のための調査、研修、啓発等の取組は、教育現場の課題を的確に把握し、指導改善につながっている。これらの取組により、小中学校の教育力向上に一定の成果が見られ、継続的な実施が求められる。今後も調査結果や分析をもとに、学力向上や教育力の充実にに向けた取組が必要である。	1次評価
	25
	2次評価
	25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・学校の本質となる事業として達成はされているようだが、学習意欲の向上や活動実績に関して、効果や成果がわからない。効果があることを期待する。
 ・学ぶことは一人ひとりの未来を確かなものにしていく手段だと思う。引き続きの取り組みをお願いする。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	教育振興事業	細事業	教育振興事業
実施計画事業	スクールソーシャルワーカー活用事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

いじめ、不登校、暴力行為など、児童生徒の問題行動等に対処するため、教育分野に関する知識に加えて社会福祉等の専門的な知識等を有し、関係機関等とのネットワークを活用した支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制を整備するもの。

2.当該年度の取組内容(計画)

学校教育課に2名配置する。
 (1)課題を抱える児童生徒がおかれた環境への働きかけ (2) 関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整 (3) 学校内におけるチーム体制の構築、支援 (4) 保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供 (5) 教職員等への研修活動 (6) 人件費の支払い及び国庫補助請求の実施

3.主な活動実績

学校教育課に2人配置し、いじめ、不登校、暴力行為等問題を抱える児童生徒及び保護者の相談や、それに対する教員に対して相談や助言を行い、必要に応じて関係機関と連携し、課題解決に向けた相談体制の強化を図った。
 相談件数:4,409件

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	10,596	5,218			5,378
当初予算	10,596	5,218			5,378
決算額	10,297	5,203			5,094

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	国庫補助を利用し、人材確保を行う	雇用人数	目標値	2 人
			実績値	2
			達成率	100 %
成果指標	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	目標値	100 %
			実績値	100
			達成率	100 %

6.担当課の所見

いじめ、不登校、暴力行為等の児童生徒の問題行動は極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推測される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒が置かれた様々な環境へ働きかけ、関係機関とのネットワークを活用して、課題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーの配置は不可欠である。課題を抱える児童生徒とその家庭、学校等に対するきめ細かな支援や多様化する相談に対応するために引き続き配置が必要である。	1次評価
	25
	2次評価
	25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・複雑困難な問題が起きる現在において、専門性を持ったスクールソーシャルワーカーの配置は必須である。専門的知識をもって適切かつ迅速な問題解決をし、教職員の負担軽減を図りながら子どもと向き合う時間を確保して欲しい。
 ・心の問題は、専門性の高いソーシャルワーカーの存在が必要不可欠である。引き続き取り組みをお願いする。
 ・現状2人の配置も、内容によっては負担が重いのでは。増員を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	教育振興事業	細事業	教育振興事業
実施計画事業	小中一貫コーディネーター活用事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

小中一貫コーディネーターを配置し、小中一貫教育校設置の推進と定着を目指す。
小中一貫教育を実施し、学校を拠点とした持続可能な地域の創造を推進するもの。

2.当該年度の取組内容(計画)

- ・市内小中学校の教職員、PTA、地域住民への説明会を通じて啓発活動を実施する。
- ・CS(学校運営協議会)を各学校年5回実施する。
- ・9年間を見通した教育目標、教育課程の作成、年間計画などの作成を促進する。
- ・小中一貫教育に関わる教職員の業務内容の点検整理を行い働き方改革を徹底する。

3.主な活動実績

小中一貫コーディネータを1人配置し、学校運営協議会や小中一貫校合同会議を重ね小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進した。
・分散型小中一貫校設置:三重町

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	3,122				3,122
当初予算	3,040				3,040
決算額	2,932				2,932

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	小中一貫コーディネーターの配置	会計年度任用職員の人数	目標値	1 人
			実績値	1
			達成率	100 %
成果指標	小中一貫校の設置	小中一貫校の数(累積 ハード及びソフト含む)※基本計画	目標値	5 校
			実績値	7
			達成率	140 %

6.担当課の所見

小中一貫コーディネーターを1人配置し、小中一貫教育、郷土学を中心とした教育の充実を図った。また、市内全ての中学校区において協議や調整を進めることで施設一体型、隣接型、分散型の小中一貫教育校を設置することができた。9年間を通して系統的で継続した学びの中で「主体的な自己実現」を図るため、小中一貫教育の成熟に向けた取組を進めていくことが必要である。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性

C

終了

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・小中一貫教育校の取り組みは始まったばかりで、運営していくことで見えてくる課題もあると思う。学校を核とした持続可能な地域の創造を推進していくために、さらに取り組んでいただきたい。
- ・事業は終了しても小中一貫教育の成熟と継続性の担保を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

事業	教育振興事業	細事業	外国語指導助手事業
実施計画事業	外国語指導助手事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

グローバル化が叫ばれる中、豊後大野市では、外国語を「英語」とし、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により、4名の外国語指導助手(ALT)を配置し英語教育の充実を図る(交付税措置あり)。

2.当該年度の取組内容(計画)

4名の外国語指導助手(ALT)を配置し、児童生徒に生きた英語授業を行う。

3.主な活動実績

4人の外国語指導助手(ALT)を配置し、市内小中学校における英語授業の補助を行った。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	19,065				19,065
当初予算	18,374				18,374
決算額	19,132				19,132

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	市内小中学校における英語授業補助のための人材確保	4人の配置	目標値	4	人
			実績値	4	
			達成率	100	
成果指標	「英語の授業が楽しい」と答える児童	アンケート等の実施による	目標値	94	%
			実績値	97	
			達成率	103.2	
成果指標	「英語の授業が楽しい」と答える生徒(1年生)	アンケート等の実施による ※1年生	目標値	73	%
			実績値	86.7	
			達成率	118.8	

6.担当課の所見

語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)を活用して外国語指導助手(ALT)を配置し、小中学校において英語を楽しく学べる環境整備を継続することで、英語教育の充実を図ることができた。また、異文化に触れる機会を通じて、国際的な視野の育成にも一定の効果が見られた。英語教育の充実と国際理解の促進のため、今後も継続した配置が必要である。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・必要かつ不可欠な事業である。今後の継続と充実に期待する。
- ・市内でもインバウンドの方を見かける機会が増えた。生きた英語を学ぶ事業のさらなる充実を期待する。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

事業	教育振興事業	細事業	教育バス運行管理事業
実施計画事業	教育バス運行管理事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

各学校における社会見学、市内外の文化財等見学、各学校間の交流などバスが必要となった際に、教育委員会で保有するバス2台の安全を確保し運行管理を行う。

2.当該年度の取組内容(計画)

バス2台の管理運営及び運転手2名(再任職員及び会計年度任用職員)体制による教育バスの運行。

3.主な活動実績

バス2台の管理運営及び運転手3人(再任用職員1人及び会計年度任用職員2人)体制により教育バスを運行した。

稼働回数:述べ252回

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	2,213				2,213
当初予算	3,275				3,275
決算額	2,396				2,396

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	教育バス2台を確保し安全な運行を行う	教育バス2台の安全な運用	目標値	2	台
			実績値	2	
			達成率	100	
成果指標	児童・生徒等を乗せた安全な運行業務	無事故達成率	目標値	100	%
			実績値	100	
			達成率	100	
成果指標	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率(社会見学等)	目標値	100	%
			実績値	100	
			達成率	100	

6.担当課の所見

各学校の社会見学や文化財等見学、学校間の交流など校外活動の際に利用する教育バスの運行は今後も必要な事業であり、保有バス2台の維持管理及び安全確保に努めながら、継続した取組が必要である。2台活用して計画的に安全な運行ができたと評価する。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・校外活動に必要な事業である。今後の継続と充実に期待する。
- ・机上だけでなく、実際に見て、体験することは貴重な経験。事業の継続を期待する。
- ・今後も学校からの要請に応えられる体制を整えて欲しい。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		学校教育課	係名	学校教育係
事業	教育振興事業		細事業	キャリア教育推進事業
実施計画事業		キャリア教育推進事業		
政策	Ⅴ.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する		後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

子どもたち一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育て、キャリア発達を促すもの。

2.当該年度の取組内容(計画)

小中学校におけるキャリア教育の推進
 ・中学校「郷土の先輩特別授業」実施 ・小中学校「職業講話」実施
 ・小学校「匠のWAZA」体験学習実施 ・中学校「職場体験学習」実施 ・小中学校の「郷土学」の推進
 ・魅力ある学校づくりの推進(R6～特色ある学校づくり推進事業と統合) ・教育シンポジウムの開催

3.主な活動実績

小中学校におけるキャリア教育の推進
 ・郷土の先輩特別授業:中学校7校 ・職業講話:小学校3校、中学校7校
 ・匠のWAZA:小学校5校 ・職場体験学習:中学校7校
 ・郷土学:全小中学校
 ・魅力ある学校づくり推進事業(R6～特色ある学校づくり推進事業と統合):全小中学校

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	3,378			3,000	378
当初予算	6,000			2,600	3,400
決算額	5,492			2,600	2,892

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	職業関係学習実施校数	小中学校で実施した校数(郷土の先輩特別授業+職業講話+匠のWAZA+職場体験学習等) ※R5～郷土の先輩特別授業追加	目標値	18	校
			実績値	18	
			達成率	100	
活動指標	郷土学実施校数	郷土学の実施校数	目標値	18	校
			実績値	18	
			達成率	100	
成果指標	小学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	小学校で見直しを行った率	目標値	97.5	%
			実績値	90	
			達成率	92.3	
成果指標	中学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	中学校で見直しを行った率	目標値	97.5	%
			実績値	93	
			達成率	95.4	

6.担当課の所見

児童生徒が将来、自分らしい生き方を実現するため、市にゆかりがあり活躍されている方から生き方を学ぶ「郷土の先輩特別授業」、様々な仕事への理解を深める「職場体験学習」「職業講話」、体験的な郷土学の実施により郷土愛を育む「匠のWAZA」などを実施した。これらの取組により、児童生徒の進路意識や職業観、郷土への愛着が高まり、将来のウェルビーイングの基盤づくりにつながっていることが、アンケート結果や活動後の振り返りから確認されており、一定の成果が得られたと評価できる。今後も内容の精査を行いながら、継続的に取り組む必要がある。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

・子どもの未来への方向性や夢に向かって努力を養うため、郷土を思う心を育むにも必要な事業である。一層の充実を期待する。
 ・事業はどんな大人になりたいか、どんな道に進みたいのか、考えるよい機会。事業の充実を期待する。
 ・職場体験の受け入れは先は足りているか。マンネリ化や子どもの希望がかなうよう、充足を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課 学校教育課		係名 学校教育係	
事業	小中学校ICT環境整備事業	細事業	小中学校ICT環境整備事業
実施計画事業		小中学校ICT環境整備事業	
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

GIGAスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のICT環境の整備・充実に図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実に図る。また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進する。

2.当該年度の実施内容(計画)

小中学校における、ICT環境の整備、維持管理及びICT教育に係るICT支援員による教職員研修、支援体制に充実、また端末の維持管理を行う。

3.主な活動実績

教職員の校務用パソコンの購入を行うとともに、教育行政系ネットワークについてセキュアな環境で無線化するため、三重中を対象とした無線化構築業務を行った。
また、児童生徒の情報活用能力を育成するため、授業支援ソフト・ドリルソフト・プログラミング授業を活用するとともに、ICT支援員について委託を行い、遠隔授業やプログラミング授業の充実に図った。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	14,224				14,224
当初予算	91,209				91,209
決算額	85,998				85,998

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	各校でのICT研修実施	1校あたりのICT研修の実施回数	目標値	4	回
			実績値	3	
			達成率	75	
成果指標	ICT機器を使って授業ができる教職員の割合	ICT機器を使って授業ができる教職員の割合	目標値	84	%
			実績値	91.9	
			達成率	109.4	
成果指標	高速大容量の通信ネットワークの整備	GIGA対応している普通教室・特別教室割合	目標値	100	%
			実績値	100	
			達成率	100	

6.担当課の所見

GIGAスクール構想に基づき、学校のICT環境の整備・充実や情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実、ICTを活用した教育の推進に向け、今後も継続した取組が必要である。教職員の校務用パソコンの購入や遠隔授業及びプログラミング授業の充実など計画通り達成できたと評価する。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・通信速度の定期的な確認を望む。今後も情報活用能力の育成に力を入れて欲しい。プログラミング等に興味を持ち、深化を望む子どもへの環境整備を望む。
- ・生徒は、ICTをよく活用し、自分たちの学びに生かしている。これからの社会には欠かせないスキルであり、今後の充実に期待する。
- ・支援員の活用による、ICT教育の充実に望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業
実施計画事業	学校教育指導員活用事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行うために学校教育指導員を配置し、通所する子どもたちの学習や、生活に対して支援を実施する。また、教員や保護者に対しての相談活動を行い、包括的に不登校に対応していく。(資格不問、1日6時間勤務)

2.当該年度の取組内容(計画)

学校教育指導員が必要な教育支援センターかじかに対して、必要な人員配置を行う。
配置予定人数:5名

3.主な活動実績

学校教育指導員5人を配置し、教育支援センターかじかに通室する子どもへの学習活動、相談活動、体験学習等の支援をした。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	5,311				5,311
当初予算	7,357				7,357
決算額	6,465				6,465

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	学校教育指導員の配置	雇用人数(適正人数の配置)	目標値	4	人
			実績値	5	
			達成率	125	
成果指標	通室児童生徒割合	かじか教室運営事業と同じ	目標値	34	%
			実績値	30.8	
			達成率	90.6	

6.担当課の所見

学校教育指導員を配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができるため、継続的な配置が必要である。計画通り5人配置し活用できたと評価する。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・子どもの居場所づくりに必要な事業。拡充を望むが人員不足である。
- ・より細かいケアが必要。一層の充実をお願いする。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		学校教育課	係名	学校教育係
事業	教育支援センター運営事業		細事業	教育支援センター運営事業
実施計画事業		かじか教室運営事業		
政策	Ⅴ.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する		後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

不登校の小中学生に対する支援拡充を目的とした教育支援センターかじかの運営費

- ①教育支援センター・・・不登校児童生徒の受け入れ、作業活動や体験活動の実施
- ②不登校対策センター・・・市内の不登校児童生徒の把握、個別の対応策構築市教委との連携
- ③相談支援センター・・・不登校児童生徒のカウンセリング、保護者や教職員からの相談
- ④学習支援センター・・・個に応じた学習支援の実施、受験対策
- ⑤教職員研修センター・・・いじめ不登校に関する研修実施

2.当該年度の取組内容(計画)

・業務内容 教育相談(来所、電話相談) 家庭訪問 学校訪問 児童生徒のための開室日数 学習指導
調理実習 スポーツ活動 校外学習

3.主な活動実績

教育相談(来室48回、電話相談92件)、家庭訪問45回、学校訪問5回、児童生徒のための開室日数174日、学習指導174日、調理実習16回、スポーツ活動13回、校外学習12回、外部指導による体験活動33回

・不登校児童生徒数(うち通室生)

小学生20人(3人)

中学生48人(18人)

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	246				246
当初予算	259				259
決算額	172				172

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	アウトリーチ件数	家庭を訪問した件数	目標値	300	件
			実績値	45	
			達成率	15	
成果指標	通室児童割合	通室児童÷不登校児童	目標値	39.5	%
			実績値	15	
			達成率	38	
成果指標	通室生徒割合	通室生徒÷不登校生徒	目標値	31	%
			実績値	37.5	
			達成率	121	

6.担当課の所見

不登校の児童生徒に対する支援を目的とした教育支援センターかじかの運営はニーズもあり、対応も多様化しているため、今後も継続した取組が必要である。これは、通所している児童生徒への対応に多くの時間と人員が割かれていることが一因であり、未通所の児童生徒への支援が十分に行き届いていない状況がある。今後は、学校・家庭との連携強化などを通じて、支援の幅を広げる工夫が求められる。

1次評価

21

2次評価

21

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・今後も継続した取り組みを望む。
- ・より細かいケアが必要。一層の充実をお願いする。
- ・アウトリーチ件数が低く、目標と実績の差が大きい。今後の方向性との関連がミスマッチ。不登校が減るような支援を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業
実施計画事業	教育支援コーディネーター活用事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行うために、教育支援コーディネーターを配置することにより、通所する子どもたちの学習や、生活に対して支援を実施する。また、教員や保護者に対しての相談活動を行い、包括的に不登校に対応していく。(資格有、週5日勤務)

2.当該年度の取組内容(計画)

教育支援コーディネーターが必要な教育支援センターかじかに対して、必要な人員配置を行う。

3.主な活動実績

教育支援コーディネーターを3人配置し、通室生の支援のみならず、学校訪問等、アウトリーチを行った。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	9,363				9,363
当初予算	9,102				9,102
決算額	7,291				7,291

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	教育支援コーディネーターの配置	雇用人数	目標値	3	人
			実績値	3	
			達成率	100	
成果指標	通室児童生徒割合	かじか教室運営事業と同じ	目標値	34	%
			実績値	30.8	
			達成率	90.6	

6.担当課の所見

教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじかの運営を円滑かつ効率的に行うことができる。今後も継続的な配置による支援体制の確保や多様化する相談等にきめ細かな対応をしていくため、必要な事業である。計画通り3人配置し活用できたと評価する。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・子どもの居場所づくりに必要な事業。拡充を望むが人員不足である。
- ・より細かいケアが必要。一層の充実をお願いする。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	小学校一般管理事業	細事業	小学校一般管理事業
実施計画事業	臨時講師活用事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

通常学級での授業や特別支援の必要な児童の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用し、小学校における教育支援体制を充実する。

2.当該年度の取組内容(計画)

臨時講師が必要な豊後大野市内の公立小学校に対して、必要な人員を配置する。

3.主な活動実績

・配置人数(のべ人数)
臨時講師:菅尾小1人、新田小2人
短時間講師:清川小2人、緒方小2人、大野小1人、犬飼小2人

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	27,206		24,700		2,506
当初予算	28,900		26,100		2,800
決算額	16,897		16,800		97

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	専門スタッフ等の適正配置	人数(実績値:のべ人数)	目標値	10	人
			実績値	10	
			達成率	100	
成果指標	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	目標値	100	%
			実績値	100	
			達成率	100	

6.担当課の所見

通常学級での授業や特別支援の必要な児童の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、きめ細かな学習支援を行うために今後も必要である。必要な人員については、配置し活用できたと評価する。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

・特別支援が必要な児童の支援のため、今後も個々に対応した指導を望む。
・一層の充実をお願いする。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	小学校一般管理事業	細事業	フッ化物洗口推進事業
実施計画事業	フッ化物洗口推進事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

児童に対して、「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。実施については、保護者の同意が必要。

2.当該年度を取組内容(計画)

保護者に対して説明を行い、全小学校で1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを実施する。

3.主な活動実績

1週間に1回フッ化物洗口液を使用し、うがいを行う。

小学校11校:1,145人の実施

フッ化物洗口用消耗品の購入

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	978				978
当初予算	529	264			265
決算額	513	513			0

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	実施率の向上	保護者に事業の説明を行い重要性を理解してもらい、実施児童の割合を増やす (保護者の同意が必要なため)	目標値	94
			実績値	89.6
			達成率	95.3
成果指標	虫歯の本数の減少	12歳児むし歯平均本数(前年度数値,小中成果同じ)	目標値	1
			実績値	0.79
			達成率	—

6.担当課の所見

児童に対して「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし歯予防対策の強化を図っており、今後も継続して取組む必要がある。実施率及びむし歯本数の減少は、目標を達成できたと評価する。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・虫歯本数の減少は概ね達成できていることから、継続した実施を望む。
- ・虫歯にならないようにする意識を持つことは大切。より一層の充実をお願いする。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	小学校教育振興事業	細事業	小学校教育振興事業
実施計画事業	小学校教育振興事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等の教育を振興する

2.当該年度の取組内容(計画)

消耗品や教材備品等の購入、バス借り上げ等

3.主な活動実績

教育振興に必要な教材などの物品購入等、教育活動の充実に取組んだ。
・講師謝礼金(総合学習)、記念品代(新入学生、卒業生)、消耗品費(教科書、教材等)、借上料(バス、タクシー、土地)、プール使用料(菅尾小)、教材備品・図書

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	19,019			3,500	15,519
当初予算	50,445			3,000	47,445
決算額	47,883			3,000	44,883

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	一般教材及び図書の整備	備品購入費(教材備品+図書)	目標値	4,792
			実績値	4,792
			達成率	100 %
成果指標	図書年間貸出冊数	児童一人当たり年平均※基本計画	目標値	160
			実績値	156.2
			達成率	97.6 %
成果指標	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	目標値	100
			実績値	100
			達成率	100 %

6.担当課の所見

学校の運営の中で、教育に必要な教材備品の整備、校外活動におけるバス借上げ等により教育を振興する事業であり、今後も継続した取組が必要である。活動実績から目的は達成できたと評価する。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・必要な教育備品、教材、素敵な図書等は取りそろえていただきたい。
- ・継続と充実を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

事業	小学校教育振興事業	細事業	小学校理科教育設備等整備事業
実施計画事業	理科教育設備等整備事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

学校における理科及び算数に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、小学校に対して理科教育等を実施するための設備を整備する。

2.当該年度 of 取組内容(計画)

各学校での整備計画により市内小学校の8校を対象に理科教材を購入する。

3.主な活動実績

小学校8校、23品の理科備品等更新を実施

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	1,009	504			505
当初予算	858	428			430
決算額	834	384			450

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	理科教育備品整備	整備数	目標値	23
			実績値	23
			達成率	100 %
成果指標	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	目標値	100 %
			実績値	100 %
			達成率	100 %

6.担当課の所見

小学校における理科及び算数に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備整備を行っており、教育振興の充実が図られていると評価する。今後も継続的な取組が必要な事業である。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・魅力ある理科算数教育のため、充実した設備整備をお願いする。
- ・事業の継続をお願いする。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	中学校一般管理事業	細事業	中学校一般管理事業
実施計画事業	臨時講師活用事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

通常学級での授業や特別支援の必要な生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員を雇用し、教育支援体制を充実する。

2.当該年度の取組内容(計画)

臨時講師が必要な豊後大野市内の公立中学校に対して、必要な人員を配置する。

3.主な活動実績

配置人数(のべ人数)
短時間講師:緒方中1人、千歳中1人

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	9,316		8,500		816
当初予算	6,613		5,900		713
決算額	1,317		1,300		17

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	専門スタッフ等の適正配置	人数(実績値:のべ人数)	目標値	2	人
			実績値	2	
			達成率	100	%
成果指標	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	目標値	100	%
			実績値	100	
			達成率	100	%

6.担当課の所見

通常学級での授業や特別支援の必要な生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、きめ細やかな学習支援を行うために今後も必要である。必要な人員については、配置し活用できたと評価する。

1次評価

22

2次評価

22

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・特別支援が必要な生徒の支援のため、今後も個々に対応した指導を望む。
- ・必要何人員と予算の確保、一層の充実をお願いします。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	中学校一般管理事業	細事業	フッ化物洗口推進事業
実施計画事業	フッ化物洗口推進事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

生徒に対して「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。実施については、保護者の同意が必要。

2.当該年度の取組内容(計画)

保護者に対して説明を行い、市内全中学校でフッ化物洗口液を用いてうがいを実施する。

3.主な活動実績

1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがいを行う。
 中学校7校:545人の実施
 フッ化物洗口用消耗品の購入

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	477				477
当初予算	266	133			133
決算額	257	257			0

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	実施率の向上	保護者に事業の説明を行い重要性を理解してもらい、実施生徒の割合を増やす (保護者の同意が必要なため)	目標値	79	%
			実績値	74.7	
			達成率	94.6	%
成果指標	虫歯の本数の減少	12歳児むし歯平均本数(前年度数値,小中成果同じ)	目標値	1	本
			実績値	0.79	
			達成率	—	%

6.担当課の所見

生徒に対して「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行うことで、むし歯予防対策の強化を図っており、今後も継続して取組む必要がある。実施率及びむし歯本数の減少は、目標を達成できたと評価する。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・虫歯本数の減少は概ね達成できていることから、継続した実施を望む。
- ・虫歯にならないようにする意識を持つことは大切。より一層の充実をお願いする。
- ・強制するものではないが実施率の向上を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校教育振興事業
実施計画事業	部活動指導員活用事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

部活動指導員を配置し、部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図る。

2.当該年度の取組内容(計画)

部活動指導員が必要な豊後大野市内の公立中学校に対して、必要な人員配置を行う。
配置予定校:犬飼中学校1名

3.主な活動実績

配置校:犬飼中学校 卓球部1人
指導時間:年間210時間

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	366	224			142
当初予算	336	224			112
決算額	336	224			112

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	会計年度任用職員の採用	採用人数	目標値	1 人
			実績値	1
			達成率	100 %
成果指標	教員の子どもに向き合う時間の増加	月平均増加時間(目標:月平均15時間以上)	目標値	15 時間
			実績値	17.5
			達成率	116.7 %

6.担当課の所見

部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図ることができており、今後も継続した取組が必要である。計画通り1人配置し活用できたと評価する。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性

B-4

見直した上で継続・縮小

7.外部評価アドバイザーからの意見

・教職員が子どもに向き合う時間の確保のためにも必要な事業。適切な指導者の招致が必要である。有望な人材の確保は難しいが、頑張って取り組んで欲しい。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校教育振興事業
実施計画事業	中学校教育振興事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

たくましく感性豊かな生徒の育成や中学校における教育活動の充実及び教育の振興を図るもの。

2.当該年度の取組内容(計画)

消耗品、教材備品等の購入やバス借り上げ等による学校活動の振興・充実を図る。

3.主な活動実績

中学校の教育振興ために必要な教材の購入等による教育活動の支援を実施
講師謝礼金(総合学習等)、記念品代(卒業生用)、消耗品費(教科書、教材等)、火災等保険料(職業体験)、借上料(バス)、教材備品・図書

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	32,059			2,200	29,859
当初予算	20,222			1,500	18,722
決算額	17,938			1,500	16,438

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	一般教材及び図書の整備	備品購入費(教材備品+図書)	目標値	2,567
			実績値	2,567
			達成率	100 %
成果指標	図書年間貸出冊数	生徒一人当たり年平均※基本計画	目標値	34
			実績値	20.8
			達成率	61.2 %
成果指標	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	目標値	100
			実績値	100
			達成率	100 %

6.担当課の所見

学校の運営の中で、教育に必要な教材備品の整備、校外活動におけるバス借上げ等により教育を振興する事業であり、今後も継続した取組が必要である。活動実績から目標は達成できたと評価する。一方で、図書の年間貸出冊数が低いことから、図書館の利用等に関して、授業や学校活動と連動させることが必要である。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・必要な教育備品、教材、素敵な図書等は取りそろえていただきたい。
- ・継続と充実を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校理科教育設備等整備事業
実施計画事業	理科教育設備等整備事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

学校における理科及び数学に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、中学校に対して理科教育等を実施するための設備整備を実施する。

2.当該年度の取組内容(計画)

各中学校の整備計画により市内中学校の3校を対象に理科教材を購入する。

3.主な活動実績

中学校3校、25品の理科備品等更新を実施

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	1,203	601			602
当初予算	1,100	549			551
決算額	1,100	508			592

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	理科教育備品整備	整備数	目標値	25
			実績値	25
			達成率	100 %
成果指標	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	目標値	100 %
			実績値	100
			達成率	100 %

6.担当課の所見

中学校における理科及び数学に関する教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づく国の補助事業を活用した理科教育教材の設備整備を行っており、教育振興の充実が図られていると評価する。今後も継続的な取組が必要である。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・魅力ある理科数学教育のため、充実した設備整備をお願いする。
- ・事業の継続をお願いする。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校教育係
事業	幼稚園一般管理事業	細事業	幼稚園一般管理事業
実施計画事業	幼稚園教諭(会計年度)活用事業(地域子ども・子育て支援分)		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

1園につき幼稚園教諭3人(会計年度任用職員を1人配置)体制で、子ども・子育て支援事業(一時預かり事業)に取り組む。

2.当該年度の取組内容(計画)

幼稚園教諭が必要な豊後大野市内の公立幼稚園に対して、必要な人員を配置する。
配置予定: 東幼稚園

3.主な活動実績

配置園:1園 東幼

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	8,473	2,214			6,259
当初予算	2,923	862		24	2,037
決算額	2,794	854		1	1,939

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	幼稚園教諭(会計年度任用職員)の配置	人数(雇用した会計年度任用職員)	目標値	1	人
			実績値	1	
			達成率	100	
活動指標	幼稚園型預かり保育実施数	必要に応じて実施 (目標値なし)	目標値	0	園
			実績値	1	
			達成率		
成果指標	教育課程の達成	文科省の幼稚園教育要領に則った教育課程の達成率	目標値	100	%
			実績値	100	
			達成率	100	

6.担当課の所見

会計年度任用職員を1人配置し、幼稚園教諭3人体制で、子ども・子育て支援事業(一時預かり事業)に取り組んでおり、預かり保育のニーズがあるなか、体制整備や幼児教育の充実を図るためには継続した取組が必要である。計画通り1人配置し活用できたと評価する。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

・多様な幼児教育のあり方に対応するため、必要な事業である。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	学校教育課	係名	学校給食係
事業	給食共同調理場運営事業	細事業	給食共同調理場運営事業
実施計画事業	給食共同調理場運営事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	1.学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する	後期基本計画	84 頁

1 事業の目的と内容

給食に地元食材を活用し、生産者や地域の食文化を理解していただくとともに、食に関する指導の充実を図る。

2.当該年度の取組内容(計画)

市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2481食(関係教職員含む)
調理場施設の状況…三重学校給食共同調理場・西部学校給食共同調理場の2施設
○市内・県内産食材の活用○施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上○給食配送業務の外部委託 委託先:(社)豊肥地域シルバー人材センター○給食調理業務の外部委託

3.主な活動実績

市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2345食(関係教職員含む)
調理場施設の状況…三重学校給食共同調理場・西部学校給食共同調理場の2施設
○市内・県内産食材の活用○施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上○給食配送業務の外部委託 委託先:(社)豊肥地域シルバー人材センター○給食調理業務の外部委託

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	310,000			120,359	189,641
当初予算	420,674	27,000		116,996	276,678
決算額	408,547	27,000		19,481	362,066

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	1 食の指導	三重管内 100回 西部管内 100回 計画によるもの(各管内週2回～3回) 200回以上	目標値	200	回
			実績値	222	
			達成率	111.0	
活動指標	2 給食の実施数	管内給食実施施設 24カ所	目標値	100	%
			実績値	100	
			達成率	100.0	
成果指標	1 学校給食における地場産品の使用割合	大分県産品調査による 75%以上	目標値	75	%
			実績値	75	
			達成率	100.0	
成果指標	2 学校給食費の収納率	現年度分収納率 97%以上	目標値	97	%
			実績値	99	
			達成率	102.8	

6.担当課の所見

<ul style="list-style-type: none"> ・三重調理場、西部調理場において、「学校給食衛生管理基準」に基づき、献立作成や物資の調達、調理業務に至るまで、安全衛生管理を徹底し、安全安全な給食を提供することができた。 ・物価高騰が続く中、子どもたちに栄養バランスのとれた給食を提供するためにも、物価動向等を注視し、適切な給食費の額の設定が必要とされる。 ・小中学生の給食費は無償化となったが、幼稚園児、教職員等については現年度分の収納率100%をめざすためにも、納付書から口座振替への移行等、学校との連携が必要となる。 ・計画的に老朽化した調理機器の更新、修繕が必要とされる。 	1次評価
	25
	2次評価
	25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・おいしく安全な食の提供のために必要な事業である。一層の充実を期待する。食育の推進を実施するにあたり、栄養教諭と学校の更なる連携体制を望む。
・地域の食材・食文化を給食で感じ、学ぶことは大変意義がある。物価高騰の中、苦慮していると思うが今後の充実を望む。
・収納の苦労は理解するが、整理していく仕組みづくりも必要。無償化になり、一層の食育推進を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課 社会教育課

係名 社会教育係

事業	社会教育総務事業	細事業	社会教育総務事業
実施計画事業	PTA連合会補助事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	2.生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する	後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

市PTA連合会が行う、児童・生徒の健全育成と福祉の推進、生涯学習実現のための研修及び実践活動、もって家庭教育力を高め、学校教育や地域・関係機関等の連携融合を図る団体活動の助成のため、補助金を交付する。

2.当該年度の取組内容(計画)

豊後大野市社会教育等団体活動補助金
 交付先: 市PTA連合会
 交付金額: 543,000円 (参考) 市PTA連合会等

3.主な活動実績

豊後大野市社会教育等団体活動補助金
 交付先: 市PTA連合会
 交付金額: 543,000円
 (参考) 市PTA連合会R6年度行事予定・市P定期総会・市防煙・薬物防止教室・県P連理事会・市P役員会・市P常任委員会・市内P会長研修会・三重総合高校との意見交換会・差別をなくす市民のつどい 等

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位: 千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	543				543
当初予算	543				543
決算額	543				543

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	市PTA連合会への補助	補助金額	目標値	543	千円
			実績値	543	
			達成率	100%	
成果指標	主催イベント回数	PTA連合会が行うイベントの回数(諸会議・研修会・その他)	目標値	20	回
			実績値	13	
			達成率	65%	
成果指標	主催イベント回数	PTA連合会が参加するイベントの回数(市P連合主催イベントは除く)	目標値	100	回
			実績値	97	
			達成率	97%	

6.担当課の所見

社会教育関係団体として、家庭教育をはじめさまざまな学びの場を創出し、青少年の健全育成を図っている。補助金も適正に交付している。しかし、少子化等を起因としたPTA会員の未加入者の増加が見られる状況から今後の社会教育関係団体の安定的な運営や市の支援のあり方について引き続き検討する必要がある。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

・少子化の中、会員数の減少もあるが組織の重要性を保護者に伝え、地域を交えた新しい組織づくりの必要性も感じる。
 ・事業の継続をお願いする。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	社会教育係
事業	社会教育総務事業	細事業	社会教育総務事業
実施計画事業	女性団体等活動費補助事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	2.生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する	後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

市内女性団体が、家庭生活ならびに地域社会の発展のために行う、学習活動や実践活動を助成するために補助金を交付する。

2.当該年度の取組内容(計画)

豊後大野市社会教育等団体活動補助金

交付先:市地域婦人団体連合会,交付金額:300,000円(参考)地域婦人団体連絡協議会 R6年度行事予定・定期総会・理事会・県婦連行事参加・九州地区地域婦人大会(全国大会)参加・各種研修参加・交通安全運動・ごみ空き缶拾い・その他

3.主な活動実績

豊後大野市社会教育等団体活動補助金

交付先:市地域婦人団体連合会,交付金額:200,000円(参考)会計監査、市婦連R6年度総会、市婦連役員会(3回)、県婦連総会、交通安全運動(春と秋)、県婦連リーダー研修会、おおいた事故ゼロ運動(夏と冬)、九州地区地域婦人大会、市安全で住みよいまちづくり推進大会、ゴミ空き缶拾い活動、その他県理事会等(10回)

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	300				300
当初予算	300				300
決算額	200				200

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	女性団体への補助	補助金額	目標値	300	千円
			実績値	200	
			達成率	67%	
成果指標	主催イベント回数	女性団体が行うイベントの回数(諸会議・研修会・その他)	目標値	4	回
			実績値	7	
			達成率	175%	
成果指標	参加イベント回数	女性団体が参加するイベントの回数(主催イベントを除く)	目標値	8	回
			実績値	13	
			達成率	163%	

6.担当課の所見

三重町、千歳町、犬飼町の婦人会から構成する婦人団体連合会に対し、青少年の健全育成や子どもの見守りなど、社会教育関係団体としての活動を積極的に実施した。補助金の交付も適正に行なった。一方で少子高齢化に伴う会員減少が見られることから、団体の今後の活動の状況を把握し、支援のあり方について団体と協議を重ねる必要がある。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・活動される方の減少が危惧される。各団体を話し合い、高齢化や少数化に対し、社会教育と福祉事業とのコラボレーションも考えていかなければならない時期にがきている。活動したくても移動手段などの問題から参加できない方などもある。手厚い事業となるよう望む。
・事業の継続を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課		係名		社会教育係	
事業	青少年健全育成事業			細事業	子ども文化・芸能事業		
実施計画事業		子ども文化・芸能事業					
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち			施策	2.生涯学習の推進		
施策展開		①生涯学習を推進する			後期基本計画		86 頁

1 事業の目的と内容

文化・郷土芸能の継承に取り組んでいる青少年団体に発表する機会を提供し、取組の励みとしてもらう。

2.当該年度の取組内容(計画)

文化・郷土芸能の継承に取り組む青少年団体に発表の場を提供する。
・3団体の出演に係る支援

3.主な活動実績

6団体(おがた子供太鼓、千歳小中学校神楽部、板井迫神明社神楽座、深山流朝地神楽保存会、松尾子ども神楽、清川子ども神楽保存会)60,000円

4.事業計画額・決算額

R6年度 事業費計		財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	85			80	5
当初予算	85			80	5
決算額	72			0	72

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	出演依頼団体数	出演を依頼する団体数	目標値	3	団体
			実績値	6	
			達成率	200%	
活動指標	開催回数	開催回数	目標値	1	回
			実績値	1	
			達成率	100%	
成果指標	出演団体数	出演する団体数	目標値	3	団体
			実績値	6	
			達成率	200%	
成果指標	出演人数	出演する人数	目標値	30	人
			実績値	50	
			達成率	167%	

6.担当課の所見

市商工観光課ジオパーク推進室と連携して取組を行なってきたが、令和7年度から本予算を商工観光課に移管することにより、発展的に本課の事業廃止とした。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性	E	廃止
--------------	---	----

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・新しい枠組みでの活動に期待する。
- ・地域の文化は常に意識して守っていかなければならない。担当課が変わっても、継続を望む。
- ・後継者育成には郷土学の視点が重要。事業は廃止だが商工観光課との連携をとり継続をして欲しい。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	社会教育係
事業	青少年健全育成事業	細事業	放課後子ども教室事業
実施計画事業	放課後子ども教室事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	2.生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する	後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。

2.当該年度の取組内容(計画)

学校と地域の力をマッチングさせる協育コーディネーターを小学校区単位に配置(①三重町小学校5校区にコーディネーター配置②その他6つの小学校区の各公民館に委託③協力者を募集④放課後子ども教室では学習の見守りと各種体験活動(工作、茶道、読み聞かせ、科学実験、太鼓体験、郷土学習、座禅、軽スポーツ等)を行う。

3.主な活動実績

地域の方々と交流しながら、子どもの実体験を育むため県補助事業を活用し、市内全小学校児童を対象に、工作、茶道、マジック、紙芝居、絵手紙、スポーツ、けん玉、科学実験、文化財学習、郷土料理、朝倉彫刻、読み聞かせ、環境学習、手話、人権学習等、各教室合計401回の学級を開催した。(登録児童:301名)

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	5,516		1,358	3,600	558
当初予算	5,516		1,358	3,600	558
決算額	5,142		938	3,600	604

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	実施対象校区数	放課後子ども教室を実施する校区数 (市内全校区数:11)	目標値	11	校区
			実績値	11	
			達成率	100%	
活動指標	登録人数	放課後子ども教室 対象児童登録人数	目標値	300	人
			実績値	301	
			達成率	100%	
成果指標	開催回数	開催回数(延べ回数) ※放課後開催・土曜日開催の合計	目標値	495	回
			実績値	401	
			達成率	81%	
成果指標	参加人数	参加人数(延べ人数) ※放課後開催・土曜日開催の合計	目標値	13,000	人
			実績値	7,587	
			達成率	58%	

6.担当課の所見

「小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を図ることができた。少子化や多様化により参加者数が減少してきているが、子どもたちが興味関心を持って参加したくなるような事業展開が必要である。」	1次評価
	24
	2次評価
	24

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・子どもの居場所づくりや学力向上に必要な事業である。持続性のある活動を望む。
- ・子どもたちのよい学びの場である。継続をお願いする。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課		係名		社会教育係	
事業	青少年健全育成事業			細事業	二十歳を祝う会		
実施計画事業		二十歳を祝う会					
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち			施策	2.生涯学習の推進		
施策展開		①生涯学習を推進する			後期基本計画		86 頁

1 事業の目的と内容

新成人の新しい門出を祝福するとともに、新成人が成人としての義務と責任を自覚し、郷土への誇りと愛情を再確認する場を提供する。(R4年度より今の事業名)

2.当該年度の取組内容(計画)

新成人の中から実行委員を募集し、企画・運営に関して実行委員会形式での成人式を実施する。

3.主な活動実績

- ・令和7年1月12日(日)実行委員形式で開催
- ・対象者287名、当日参加者232名

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	611			600	11
当初予算	611			600	11
決算額	624			500	124

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	開催回数	開催回数	目標値	1	回
			実績値	1	
			達成率	100%	
成果指標	参加人数	参加人数	目標値	265	人
			実績値	232	
			達成率	88%	

6.担当課の所見

参加者は232名で対象者(287名)の8割の参加であった。二十歳を祝う会は実行委員会にて運営しているが、少子化等の影響により、町によっては実行委員の選出に苦慮している状況が見受けられる。町ごとに人数指定した実行委員体制を見直し、柔軟に対応して取り組む必要がある。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・参加率が高く、ふるさとを思い自分を振り返り、自分の未来を思い描く節目の会である。継続を望む。
- ・実行委員の負担が大きいのではないか。負担が大きい場合は実行委員会のあり方について検討が必要である。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課 社会教育課

係名 社会教育係

事業	青少年健全育成事業	細事業	中学校国際交流事業
実施計画事業	中学校国際交流事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	2.生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する	後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

市内の中学2年生～3年生を海外(韓国/プサン広域市機長郡長安中学校)へ派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味や関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成することを目的とする。

2.当該年度の取組内容(計画)

市内中学2年生～3年生20名(最低15名)による訪韓ホームステイ及び韓国・長安中学校パートナーによる来日ホームステイ

3.主な活動実績

市内中学1～3年生15名による韓国・長安中学校パートナーとの訪韓ホームステイ(7/27～7/30)及び来日ホームステイ(8/2～8/4)

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	1,800			1,800	0
当初予算	1,800			1,800	0
決算額	2,248			2,247	1

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	派遣回数	訪韓ホームステイ派遣回数	目標値	1
			実績値	1
			達成率	100%
活動指標	受入回数	来日ホームステイ受入回数	目標値	1
			実績値	1
			達成率	100%
成果指標	訪韓人数	訪韓ホームステイ参加人数(引率除く)	目標値	20
			実績値	15
			達成率	75%
成果指標	来日人数	来日ホームステイ参加人数(引率除く)	目標値	20
			実績値	15
			達成率	75%

6.担当課の所見

本年度から募集に際して視覚的に当該事業の魅力を伝えるための映像を制作したり、市内在住の全ての中学生(7～9年生)までを対象にする要綱改正などの工夫をして参加者募集に取組んだ。しかしながら参加希望者が少なく、来年度以降においても更なる工夫が必要である。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

・ホームステイの受け入れができない家庭が多い。継続するには希望者は宿泊施設を利用する等の工夫も必要。
・借家等で受け入れが難しい環境もある。よい取組であるため参加者増加につながるよう努めて欲しい。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課		係名		社会教育係	
事業	青少年健全育成事業			細事業	青少年健全育成大会事業		
実施計画事業		青少年健全育成大会事業					
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち			施策	2.生涯学習の推進		
施策展開		①生涯学習を推進する			後期基本計画		86 頁

1 事業の目的と内容

豊後大野市の児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行力のある青少年健全育成活動へと発展させることを目的とする。

2.当該年度の取組内容(計画)

おおいた教育の日(11月1日)関連行事として、「豊後大野市次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」を開催する。(主催:豊後大野市青少年健全育成市民会議等)

3.主な活動実績

豊後大野市青少年健全育成市民会議・市教育委員会・市PTA連合会の主催(参加者263名)

- ・最乗寺子ども太鼓
- ・第27回ことばの森フェスタ
- ・講演会「こどもたちの未来は、地域の未来」～地域みんなで子どもを育てるために～講師 矢野 茂生 氏

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	232			200	32
当初予算	232			200	32
決算額	166			100	66

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	開催回数	「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」の開催回数	目標値	1	回
			実績値	1	
			達成率	100%	
成果指標	参加人数	参加人数(市PTA連合会、三重総合高校PTA、教育委員、社会教育委員、民生主任児童委員、厚生文教常任委員議員、退職校長会、校長会、豊後大野市教育協会、青少年健全育成委員、青少年健全育成会議支部 計268人)	目標値	268	人
			実績値	263	
			達成率	98%	

6.担当課の所見

「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」をおおいた教育の日の関連行事として開催した。学校教育課において実施している学校シンポジウムの事業内容が類似していることから一体的な取組みについて、令和7年度中に検討を行う。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどいは大変素晴らしい事業。多くの市民に見てもらえるよう情報発信やアピールを望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	社会教育係
事業	公民館管理運営事業	細事業	公民館運営事業
実施計画事業	公民館運営事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	2.生涯学習の推進
施策展開	②公民館機能を充実する	後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

公民館を市民の生涯学習拠点として、また利用しやすい貸館としての運用に努めることを目的とする。

2.当該年度の取組内容(計画)

- ・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を12名配置する。
- ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図る。

3.主な活動実績

- ・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を12名配置した。
- ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図った。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	313			23	290
当初予算	313			23	290
決算額	199				199

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	公民館運営審議会委員数	公民館運営審議会委員の人数	目標値	13	人
			実績値	12	
			達成率	92%	
活動指標	公民館運営審議会 開催回数	公民館運営審議会の開催回数	目標値	2	回
			実績値	3	
			達成率	150%	
成果指標	公民館関係職員 研修参加回数	公民館関係職員(公民館運営審議会委員・指定管理者職員・担当職員等)の研修参加回数	目標値	3	回
			実績値	4	
			達成率	133%	

6.担当課の所見

公民館運営審議会を3回開催して委員からの意見を聞く機会の確保に努めた。各種研修会や大会などにも積極的に参加しており、今後においても公民館機能の更なる充実を図る。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・地域住民の文化交流や社会教育において必要な場所であり、今後も継続し、充実を図って欲しい。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	社会教育係
事業	公民館管理運営事業	細事業	自治公民館整備支援事業
実施計画事業	自治公民館整備支援事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	2.生涯学習の推進
施策展開	②公民館機能を充実する	後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

自治公民館を地域住民が集い、学ぶ拠点として活用するとともに、そこでの生涯学習活動を促進するため、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して補助を行う。

2.当該年度の取組内容(計画)

各自治公民館の新築・改修経費に対し補助を行う。(R5年度は新築2件)

3.主な活動実績

各自治公民館の新築・改修にかかる補助(補助率:50%、新築は最大300万円、改修は最大100万円)

【改修】 22件(朝地町志賀区ほか)

【新築】 0件

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	3,000				3,000
当初予算	3,000				3,000
決算額	9,632				9,632

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	自治公民館整備支援事業周知回数	自治公民館整備支援事業の周知回数(延べ数)	目標値	7	回
			実績値	7	
			達成率	100%	
成果指標	補助金交付率	補助金交付申請数に対する補助金交付割合	目標値	100	%
			実績値	100	
			達成率	100%	
成果指標	補助金交付金額	補助金交付金額	目標値	3,000	
			実績値	9,632	
			達成率	321%	

6.担当課の所見

前年の6件から22件の実績と大幅に増え、使い勝手の良い事業となっている。一方で想定を上回る申請数となったことで対応に苦慮したことから、来年度から自治会に対し事前にニーズを把握するなどして、事業のさらなる充実を図る。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・地域の要望に充足するよう対応して欲しい。自治会のあり方や進め方を協議しながら、この事業が社会教育課にある意義を考慮し、関係課と連携を図って欲しい。
・事業の継続を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課 社会教育課		係名 社会教育係	
事業	公民館管理運営事業	細事業	公民館等指定管理事業
実施計画事業		公民館等指定管理事業	
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	2.生涯学習の推進
施策展開	②公民館機能を充実する	後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

指定管理者制度導入による市民サービスの向上と、公民館施設の利用者増を目指すとともに、施設使用料、自主事業による収入増等と、指定管理者の努力による効果的・効率的で柔軟な公民館運営を目的とする。

2.当該年度の取組内容(計画)

指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済(基本協定R3.1.13締結、期間R3～R7年度)、委託内容【業務実施体制の整備・施設維持管理業務・社会教育事業に関する業務・スポーツ振興事業に関する業務・施設運営業務・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会・自主事業】

3.主な活動実績

令和6年度の委託内容【業務実施体制の整備・施設維持管理業務・社会教育事業に関する業務・スポーツ振興事業に関する業務・施設運営業務・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会・自主事業】指定管理者である「ここからプラス」において特に問題なく管理をすることができていた。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	194,562				194,562
当初予算	194,562				194,562
決算額	194,562				194,562

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	指定管理委託料	指定管理委託料 (指定管理者募集要項 基準価格)	目標値	194,562	千円
			実績値	194,562	
			達成率	100%	
成果指標	主催学級・講座数	主催学級・講座数 385講座/指定期間 最終年度(指定管理者募集要項 教育委員会が設定する数値目標)	目標値	365	講座
			実績値	469	
			達成率	128%	
成果指標	公民館利用状況	公民館利用者数 R元年度に対し、毎年度1%増	目標値	96,209	人
			実績値	111,874	
			達成率	116%	

6.担当課の所見

公民館主催学級・講座数や公民館利用者数ともに目標値を達成しており、社会教育委員などからも一定の評価をいただいている。令和7年度は現指定管理者との協定期間が満了する最終の年度となることから、指定管理者の実績や総合スポーツ施設の一帯管理を考慮した公民館の管理運営について検討し、更なる公民館運営の充実を図る。	1次評価
	25
	2次評価
	25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・目標値は達成しており、一定の評価が出ている。継続的に充実した公民館運営を望む。
・公民館での主催学級や講座など、参加したくなるような企画が増え、住民も、魅力が増していると感じてる。さらなる充実を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	社会教育係
事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業
実施計画事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	6.人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する	後期基本計画	94 頁

1 事業の目的と内容

より深く人権意識を身につけてもらい若い世代のリーダーの育成を図ることを目的に、公民館利用団体等を対象に人権講座を開催し、人権意識の高揚を図る。

2.当該年度の取組内容(計画)

各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座(6回)を開催する。

3.主な活動実績

各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座(6回)を開催した。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	1,544				1,544
当初予算	1,544				1,544
決算額	1,071				1,071

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	人権講座 開催回数	人権講座(連続講座を含む)開催回数(延べ回数)	目標値	45	回
			実績値	45	
			達成率	100%	
成果指標	人権講座 受講者数	人権講座(連続講座を含む)受講者数(延べ人数)	目標値	1,000	人
			実績値	1,177	
			達成率	118%	

6.担当課の所見

部落差別の解消教育をはじめとするさまざまな人権問題の解決に関する学びに関する、連続講座の開催を実施することができた。2021年に実施した人権問題に関する市民意識調査結果でも、部落差別問題についての学習経験がある人では、差別に反対する意識が高く、広く学習の機会を提供し、引き続き人権意識の高揚を図る。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・人として人権を守ることは大切なことであり、学ぶ環境の充実を望む。
- ・継続した取組を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	社会教育係
事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権を学ぶ子ども会事業
実施計画事業	人権を学ぶ子ども会事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	6.人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する	後期基本計画	94 頁

1 事業の目的と内容

市内の児童・生徒を対象に、放課後の時間を利用した「人権を学ぶ子ども会」を開設し、「差別に負けない」「差別を許さない」「人の気持ちが分かる」子どもたちの育成を図る。

2.当該年度の取組内容(計画)

市内の児童・生徒を対象に、市内小中学校の児童生徒を対象にして放課後の時間を利用した「人権を学ぶ子ども会」を開設し、「差別に負けない」「差別を許さない」「人の気持ちが分かる」子どもたちの育成を図る。

3.主な活動実績

三重学園三重東小学校、大野小中学校小学部及び中学部で人権を学ぶ子ども会を開設し、より深く人権を学ぶため放課後の時間帯を利用した活動に取り組んだ。豊肥地区解放文化祭は11月23日(土)エイトピアおおのを会場に開催された。上記の人権を学ぶ子ども会をはじめ、豊後大野市高校生人権学習会、豊後大野市内中学校、竹田市中中学校による解放劇の取組みや研究発表の実践報告を行った。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	492				492
当初予算	492				492
決算額	394				394

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	団体数	「人権を学ぶ子ども会」開設数	目標値	4	団体
			実績値	3	
			達成率	75%	
成果指標	参加者数	「人権を学ぶ子ども会」参加者数	目標値	45	人
			実績値	34	
			達成率	76%	

6.担当課の所見

豊肥地区解放文化祭に参加して、あらゆる差別に対する深い学びの中で一体感と達成感を体験することができた。小学部から中学部へと連続した学びの環境確保や市内全域に活動を広げる計画検討が必要である。

1次評価

23

2次評価

23

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・世代を問わず、継続した学びとして大事な事業である。引き続き、取り組みを進めて欲しい。
- ・事業の充実を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	社会教育係
事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権を学ぶ子ども会事業
実施計画事業	高校生人権学習会事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	6.人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する	後期基本計画	94 頁

1 事業の目的と内容

市内在住の高校生を対象に、「高校生人権学習会」を開設し、人権意識の基礎を培い、豊かな人間感覚を育成するとともに、自他の人権を尊重する意欲・態度・技能を育成し、実践的な行動につながる人権教育を図る。

2.当該年度の取組内容(計画)

市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を隣保館にて講師を招き実施する。また、部落解放大分県友の会などにも参加し人権教育を推進する。

3.主な活動実績

市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を開設し部落差別を始めとするあらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある生徒の育成を図った。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	384				384
当初予算	384				384
決算額	150				150

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	団体数	「高校生人権学習会」開設数	目標値	1	団体
			実績値	1	
			達成率	100%	
成果指標	参加者数	高校生人権学習会 参加者数	目標値	10	人
			実績値	9	
			達成率	90%	

6.担当課の所見

さまざまな高校から集まり部落差別問題をはじめとするあらゆる人権問題に関し学びを深めることができた。また、本市で開催された解放文化祭においても、高校生人権学習会の中で話し合って決めた研究発表を行い、差別の現実を深く学ぶ機会の確保ができた。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・世代を問わず、継続した学びとして大事な事業である。引き続き、取り組みを進めて欲しい。
- ・事業の充実を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	社会教育係
事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権教育総合推進地域事業
実施計画事業	人権教育総合推進地域事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	6.人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する	後期基本計画	94 頁

1 事業の目的と内容

人権意識を高め、お互いを認め合う地域の創生をめざす。

2.当該年度の取組内容(計画)

令和4年度より3カ年事業で、令和6年度は緒方地域で実施

3.主な活動実績

緒方地域の学校等において人権講演会・人権の花の寄せ植え等実施。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	970	970			0
当初予算	970	970			0
決算額	300	300			0

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	校区数	事業実施校区数	目標値	1	校
			実績値	3	
			達成率	300%	
成果指標	実施学校数	取り組み学校数	目標値	2	学級
			実績値	3	
			達成率	150%	

6.担当課の所見

緒方地域の学校を中心に地域の方々の人権問題に関し学びを深めることができた。県からの委託は終了するが、令和7年度は朝地大会に向け、朝地小中学校と協議し、講師を招聘する形で講演会等を開催する。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・人権関係の事業が多いことから、事業をまとめてもよいのではないか。
- ・市の役割や立ち位置を明確にし、継続を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課 社会教育課

係名 文化財係

事業	資料館運営維持事業	細事業	資料館運営事業
実施計画事業	資料館運営事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	5.文化財等の保存・継承
施策展開	①資料館の展示・収蔵、館外活動の充実と文化財保護の推進	後期基本計画	92 頁

1 事業の目的と内容

資料館を基本施設として、各施設とともに市民等へ文化財に接する機会や情報を提供し、文化意識の高揚を図る。

2.当該年度の取組内容(計画)

歴史民俗や地質関係資料の収集・保管・展示・公開、関係機関団体と連携した資料館運営における各種業務、学校教育(小中学校)におけるふるさと学習、ジオパーク学習の支援、資料館施設維持管理業務など

3.主な活動実績

歴史的に重要な資料(古文書、古写真等)の収集・公開・調査や、展示公開を行った。また、ジオパークの拠点施設として、学校教育でのふるさと学習の支援や、市民の生涯学習の拠点施設として取組を行った。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	11,000			1	10,999
当初予算	7,045			2	7,043
決算額	6,348			1	6,347

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度	単位
活動指標	地域の歴史文化に関する情報発信	市民講座実施件数・企画展示の開催件数	目標値	4
			実績値	7
			達成率	175 %
成果指標	資料館入館者数	令和6年度の入館者数	目標値	6,000
			実績値	14,979
			達成率	249.7 %
成果指標	講座・学校支援等実施件数	小中学校ふるさと学習支援や地域学習の件数、(ジオパーク活動を含む)	目標値	100
			実績値	96
			達成率	96 %

6.担当課の所見

活動指標の講座や企画展の開催は予定どおり行なうことができ、成果指標の入館者の増に結びついていると思われる。小中学校のふるさと学習について目標には届かなかったものの、学習の浸透は図られてきている。今後も引き続き学習活動を進めていく必要があると考えられる。
魅力ある資料館をめざして今後も企画展や講座などに市民の関心を引くことができるよう工夫をし続ける必要がある。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・ふるさとにある宝を保全し、管理し、次世代に残すために必要な事業である。継続的な取り組みを望む。
- ・充実した内容の資料館である。今後とも企画展や市民講座など充実した内容で、何度も行きたくなる資料館運営を期待する。
- ・ジオパーク活動は一定の効果もあるため、郷土学にもつながる。今後も推進して欲しい。
- ・関係課との連携を深めて欲しい。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課		係名	文化財係
事業	文化財保護事業			細事業	指定文化財等調査保護事業(単独)
実施計画事業		指定文化財等調査保護事業(単独)			
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち			施策	5.文化財等の保存・継承
施策展開	①資料館の展示・収蔵、館外活動の充実と文化財保護の推進			後期基本計画	92 頁

1 事業の目的と内容

指定文化財を始め埋蔵文化財の調査保護を行い、情報公開を進める中で、市民の保護意識の高揚を図る。

2.当該年度の取組内容(計画)

市内の指定文化財の維持管理及び補修の支援を行い、文化財保護保全を図る。

3.主な活動実績

市内の指定文化財の維持管理や環境整備などの保護業務を行い、また、民間団体等が所有・管理する文化財の補修に対する援助を行った。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	30,000				30,000
当初予算	5,960			2,500	3,460
決算額	5,435			2,500	2,935

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	文化財を国指定にするための調査、指定件数	文化財の調査・記録保存や市民への調査実績公開件数	目標値	2	
			実績値	4	
			達成率	200	
活動指標	文化財保存活用地域計画の策定	文化財保存活用地域計画の策定数	目標値	1	
			実績値	0	
			達成率	0	
成果指標	文化財指定件数	指定・登録文化財の件数	目標値	502	
			実績値	506	
			達成率	100.8	

6.担当課の所見

活動指標における文化財の調査記録保存や市民への調査実績公開件数は目標を上回っているが、文化財保存活用地域計画の策定については、未だ着手ができていない。収蔵庫や今後の指定文化財保護の作業を見通しながら作成を行なう必要がある。
指定登録文化財件数は上回ってはいるが、三重古墳群の指定取組において新たな指導などで遅れが生じている。地権者の承諾や指定範囲の測量など少しでも前進させながら取組んでいく必要がある。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

・次世代に残すために必要な事業であるため、継続した取り組みを期待する。
・指定文化財や埋蔵文化財の調査保護を行い、情報公開し、市民の保護意識を高めていくことはとても意義のあること。継続した取り組みを望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課		係名	文化財係
事業	文化財保護事業		細事業	国宝重要文化財等保存整備費事業(文化的景観)	
実施計画事業		国宝重要文化財等保存整備費事業(文化的景観)			
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		施策	5.文化財等の保存・継承	
施策展開	①資料館の展示・収蔵、館外活動の充実と文化財保護の推進			後期基本計画	92 頁

1 事業の目的と内容

指定文化財を始め埋蔵文化財の調査保護を行い、情報公開を進める中で、市民の保護意識の高揚を図る。

2.当該年度の取組内容(計画)

文化的景観の整備計画を作成し、保存活用に向けた体制づくりを行う。

3.主な活動実績

令和5年3月に国の重要文化的景観に選定された「緒方川と緒方盆地の農村景観」において、整備計画の策定を行った。策定に当たっては、計画内容に反映させるべく、市民アンケートやワークショップを開催した。また、普及啓発事業の一環として、案内板等のサイン設置を実施した。なお、普及啓発事業では、令和5年度事業から繰り越した案内板等作成設置業務も実施し、完了した。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額					0
当初予算	14,809	10,418		1,000	3,391
決算額	14,372	10,023		1,000	3,349

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	文化的景観選定のための調査報告書発行(令和2年度)	調査報告書発行	目標値	0	
			実績値	1	
			達成率		
活動指標	文化的景観選定のための保存活用計画書の発行(令和3年度)	保存活用計画書発行	目標値	0	
			実績値	0	
			達成率		
成果指標	重要文化的景観の選定(令和4年度選定申請、5年度選定)	重要文化的景観選定(令和5年度選定)	目標値	0	
			実績値	0	
			達成率		

6.担当課の所見

活動指標・成果指標ともに計画どおり進められている。今後も整備についての取組を進めながら保存活用を行い、市民と共同して進める必要がある。	1次評価
	25
	2次評価
	25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・地域の文化を知り、守り、伝えていくことは、地域の未来を守る大切な事業である。継続的な事業の推進を望む。
 ・これまで以上に関係課と連携を深め、事業を推進して欲しい。
 ・伝統食の継承も推進して欲しい。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課	係名	図書館係
事業	図書館管理運営事業		細事業	図書館推進事業
実施計画事業		館外配送事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		施策	2.生涯学習の推進
施策展開	③図書館利用を推進する		後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

図書館の補完的機能として図書の館外配送を行い、各町公民館図書室と連携し直接図書館に来館することが困難な地域住民の読書支援を行う。

2.当該年度の取組内容(計画)

- ・図書館館外配送業務の実施
- ・団体貸出の促進

3.主な活動実績

図書館館外配送業務や団体貸出を実施し、地域住民の読書支援を行った。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	2,703				2,703
当初予算	412				412
決算額	401				401

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	館外配送巡回先数	図書館館外配送の利用を希望する市内の幼稚園、保育園、認定こども園、公民館図書室を定期的に巡回する。(令和5年度より開始)	目標値	18	ヶ所
			実績値	16	
			達成率	88.9	
活動指標	館外配送回数	図書館館外配送の年間延べ回数。ただし、月2回、4・8・3月を除く(令和5年度より開始)	目標値	18	回
			実績値	18	
			達成率	100.0	
成果指標	館外配送の貸出冊数	市内の幼稚園、保育園、認定こども園、公民館図書室を巡回先とすることで、図書館へ来館することが困難な市民に対して読書の推進をする。(令和5年度より開始)	目標値	13,500	冊
			実績値	11,430	
			達成率	84.7	

6.担当課の所見

図書館館外配送業務を実施し、市内16ヶ所の認定こども園、保育園、幼稚園、公民館図書室を巡回し、市民が読書に親しむ環境づくりの充実を図っている。次年度に向けては、引き続き図書館の補完的機能として図書の館外配送業務を行い、直接図書館へ来館することが困難な地域住民の読書支援を図る。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・講座、ワークショップ、おはなし会等の教育事業を行い、利用促進の取組は素晴らしい。今後さらに図書館に行けない方のために、地域の公民館図書室事業がさらに充実することを望む。
- ・開館の曜日や時間等、今までとはちがう角度から考えることも必要。
- ・市民や利用者の希望に応えるような開館の対応を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課 社会教育課

係名 図書館係

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館推進事業
実施計画事業	図書館購入事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	2.生涯学習の推進
施策展開	③図書館利用を推進する	後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

新しい情報、資料の計画的な蔵書整備が行われ、市民の多様な資料要求に敏速に対応し、常に新しい情報・資料を提供する。

2.当該年度の取組内容(計画)

市民のニーズに応じた情報・資料の収集及び提供

- ・蔵書の整備(新聞、雑誌、図書、DVDの整備) ・地域資料の収集
- ・相互貸借(図書館間の図書貸出) ・レファレンス(調査相談)サービスの充実
- ・予約、リクエスト ・相互連携(大分都市広域圏)の実施

3.主な活動実績

市民のニーズに応じた情報・資料を収集し提供することができた。

- ・蔵書の整備及び地域資料の収集(新聞9紙、雑誌142タイトル、図書12,293冊、DVD129点)
- ・相互貸借(図書館間の図書貸出)
- ・レファレンス(調査相談)3,857件
- ・予約 2,517件

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	52,710			25,000	27,710
当初予算	32,788			15,000	17,788
決算額	32,611			15,000	17,611

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	図書購入冊数	購入する図書及び地域資料の冊数	目標値	15,000	冊
			実績値	12,293	
			達成率	82.0	%
活動指標	蔵書冊数	令和10年度を目標に新図書館の蔵書可能冊数167,000冊に到達するよう計画的に蔵書を整備	目標値	95,000	冊
			実績値	148,142	
			達成率	155.9	%
成果指標	市民1人当たりの貸出冊数	市民1人当たりの貸出冊数。計画的に蔵書の整備を行うことで、貸出冊数の増加につながる。	目標値	5	冊
			実績値	4.9	
			達成率	98.0	%

6.担当課の所見

蔵書計画に沿って選書を行い、図書の購入が実施できている。また、県内他図書館との相互貸借やレファレンス(調査相談)サービスの浸透が図られていることから、今後も市民のニーズに応え、情報や資料提供の充実を図る。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性

A

現状のまま継続

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・市民や利用者の希望に対応した取組を望む。
- ・利用者を増やすため、魅力ある蔵書をして欲しい。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課	係名	図書館係
事業	図書館管理運営事業		細事業	図書館教育事業
実施計画事業		図書館教育事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		施策	2.生涯学習の推進
施策展開	③図書館利用を推進する		後期基本計画	86 頁

1 事業の目的と内容

様々な学習機会の提供と読書を通じた人づくりを推進する。
対象別の講座、ワークショップ、おはなし会等の教育事業を行い、図書館利用の促進に取り組む。

2.当該年度の取組内容(計画)

図書館の利用につながる教育事業の実施

- ・子どもを対象とした事業
- ・一般市民を対象とした事業

3.主な活動実績

図書館の利用につながる教育事業を実施することができた。

- ・子ども(親子を含む)を対象とした 13回 279名参加
- ・一般市民を対象とした事業 29回 449名参加

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	453				453
当初予算	438				438
決算額	386				386

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	子ども対象事業の回数	子どもや親子を対象とした本の読み聞かせや映画上映会、季節行事を実施する。同時に図書館にある関連図書の紹介をする。	目標値	12	回
			実績値	13	
			達成率	108.3	
活動指標	一般対象事業の回数	一般を対象とした本の読み聞かせや映画上映会、季節行事を実施する。同時に図書館にある関連図書の紹介をする。	目標値	6	回
			実績値	29	
			達成率	483.3	
成果指標	参加者の利用者カード登録率	教育事業参加者の利用者カード登録率。教育事業に参加された方が、その後も図書館の利用につなげる。	目標値	100	%
			実績値	79.0	
			達成率	79.0	

6.担当課の所見

当初の予定どおり行事を実施することができた。また、様々な年代に向けた体験教室を実施することで、今まで図書館の利用がなかった方に興味を持ってもらい、新規登録者の増加につながったが、登録申込みの手段を改善するなど更なる登録率の増加に努める必要がある。今後様々なニーズに対応した行事を実施することや、距離的に図書館利用が困難な方に向けた新たな取組も検討し図書館利用促進を図る。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・今後さらに利用者を増やすために魅力的な講座の開催等に取り組んで欲しい。
- ・継続した取組を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課		係名		図書館係		
事業		図書館管理運営事業			細事業		図書館運営事業	
実施計画事業		図書館運営事業						
政策		V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち			施策		2.生涯学習の推進	
施策展開		③図書館利用を推進する			後期基本計画		86 頁	

1 事業の目的と内容

市民の学習ニーズの多様化に伴い、図書館機能の向上を図る。
また、図書館の取組や活動など情報を発信し、利用促進に努める。

2.当該年度の取組内容(計画)

・図書館協議会の開催(年2回) ・図書館施設の環境整備 ・セルフ貸出機や自動返却機の活用による利用者のプライバシー保護 ・季節や市民のニーズに応じた特設コーナーの充実 ・電子図書館サービスの利用促進 ・ルーラル図書館の利用促進 ・広報活動(市報、ホームページ、ケーブルテレビ等)
・デジタルサイネージの活用 ・図書館通帳の発行

3.主な活動実績

・図書館協議会を年2回開催
・図書館施設の環境整備
・電子図書館サービス(電子書籍コンテンツ購入421作)
・広報活動(市報、ホームページ、ケーブルテレビ等)により利用につながる図書館情報の発信ができた。
・デジタルサイネージを活用し、行事や新刊本等の紹介ができた。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	50,557			24	50,533
当初予算	51,801			36	51,765
決算額	50,457			18	50,439

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	図書館協議会の開催回数	図書館の円滑な運営を図るため、図書館協議会を年2回開催する。	目標値	2	回
			実績値	2	
			達成率	100.0	
成果指標	来館者数(延べ数)	図書館の来館者数(令和3年1月末開館)	目標値	50,000	人
			実績値	62,641	
			達成率	125.3	%

6.担当課の所見

図書館の円滑な運営を図るため、図書館協議会を2回開催している。来館者数については、年々減少傾向であるためその対策が必要である。また、会計年度任用職員、図書館システム関係などの施設維持管理に係る経費が多くを占めていることや市民の利便性の観点からも施設の運営形態についての検討が必要である。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・図書館に行けば、いろいろなことができる。もっとアピールが必要。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課	係名	スポーツ推進係
事業	スポーツ推進総務事業		細事業	スポーツ推進総務事業
実施計画事業		各地区スポーツ振興会補助事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		施策	3.スポーツの振興
施策展開	①生涯スポーツを推進する		後期基本計画	88 頁

1 事業の目的と内容

市民がスポーツを通じて、明るく、豊かな生活の実現に資するために各町にスポーツ振興会を設置し、誰もが参加できる健康づくりと体力づくりを目的としたスポーツ行事、教室等を開催するとともに、円滑な運営を図るために振興会に予算の範囲内で補助金を交付する。

2.当該年度の取組内容(計画)

各町のスポーツ振興会が中心となり地域の関係機関や団体と連携を図り地域の特性を活かした活動計画を策定する。健康づくりと体力づくりを目的に、誰もが生涯スポーツに親しむ機会を提供できるようスポーツ行事、教室等を開催する。

3.主な活動実績

①三重町スポーツ振興会:17事業を実施②清川町スポーツ振興会:17事業を実施③緒方町スポーツ振興会:17事業を実施④朝地町スポーツ振興会:13事業を実施⑤大野町スポーツ振興会:11事業を実施⑥千歳町スポーツ振興会:9事業を実施⑦犬飼町スポーツ振興会:16事業を実施
市内全体で100事業を実施した。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	8,640				8,640
当初予算	8,640				8,640
決算額	8,069				8,069

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	生涯スポーツへの参加	スポーツ振興会主催のスポーツ行事等の開催数	目標値	115	回
			実績値	100	
			達成率	87	%
成果指標	生涯スポーツへの参加	スポーツ振興会主催のスポーツ行事等の開催数	目標値	115	回
			実績値	100	
			達成率	87	%

6.担当課の所見

スポーツ活動を推進するため、各町スポーツ振興会及び事務局のここからプラスと連携し、生涯スポーツに親しみやすいスポーツ行事、教室や研修会等の新たな企画・運営を進めているが、高齢化が進んでおり軽スポーツの普及に重点を置いて取り組む必要がある。

1次評価

23

2次評価

23

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・子どもから高齢者までスポーツに取り組む姿に頭が下がる思いである。
- ・継続的な取り組みを望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課		係名	スポーツ推進係	
事業	スポーツ推進総務事業			細事業	スポーツ推進総務事業	
実施計画事業		スポーツ協会補助事業				
政策	Ⅴ.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち			施策	3.スポーツの振興	
施策展開		③競技スポーツを振興する			後期基本計画	88 頁

1 事業の目的と内容

市民のスポーツを推進し、市民の体力の向上とスポーツ精神の高揚と、心身共に健全で活力にみちた市民生活の実現を図ることを目的に組織された豊後大野市スポーツ協会の積極的な事業の推進と円滑な運営を図るための経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

2.当該年度の取組内容(計画)

豊後大野市スポーツ協会事業計画	
①市民スポーツ大会(種目部別に6月から2月の期間に開催)	③第77回大分県民スポーツ大会
②第17回豊後大野市小中学生水泳記録会	⑤第78回大分県民体育大会(スキー競技)
④第20回豊後大野市少年少女駅伝競走大会	
⑥スポーツ指導者研修会の開催	

3.主な活動実績

①市民スポーツ大会(6月から2月の期間に15種目を開催)
②第77回大分県民スポーツ大会(27種目に463名参加)
③第1回豊後大野市少年少女リレーマラソン大会(18チーム参加)
④第78回大分県民スポーツ大会・スキー競技(6名参加)
⑤スポーツ指導者研修会の開催(4回開催)

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳			(単位:千円)
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	12,935				12,935
当初予算	12,300				12,300
決算額	11,623				11,623

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	競技力の向上	県民スポーツ大会の成績 (市スポーツ協会加盟28種目部別の競技団体)	目標値	9	位
			実績値	13	
			達成率	-	
活動指標	スポーツ少年団指導者の育成	公認スポーツ少年団指導者数	目標値	140	名
			実績値	102	
			達成率	72.9	
成果指標	競技力の向上	県民スポーツ大会の成績 (市スポーツ協会加盟28種目部別の競技団体)	目標値	9	位
			実績値	13	
			達成率	-	
成果指標	スポーツ少年団への加入率	加入者数/児童生徒数	目標値	45	%
			実績値	33	
			達成率	73.3	

6.担当課の所見

今後も継続して競技スポーツ活動やスポーツ少年団活動の支援を行なっていく。 また、人口減少に伴う競技人口の減少や競技力の低下、中学校部活動の地域展開やスポーツ指導者の確保などの課題解決に向けて、関係機関、団体が連携して取組める環境づくりの方策を検討していく必要がある。	1次評価
	23
	2次評価
	23

令和8年度の事業の方向性	B-1	見直した上で継続・拡充
--------------	-----	-------------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・各種団体があるので、スポーツ振興のため、初心者向けの体験会を実施するなどして、競技人口を増やす取り組みをしてはどうか。実施状況の調査・把握をしてはどうか。
・部活動の地域移行とあわせ、指導者の確保が必要。活動や準備を含めた予算も必要である。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課		社会教育課	係名	スポーツ推進係
事業	スポーツ推進総務事業		細事業	スポーツ推進総務事業
実施計画事業	各種スポーツ大会補助事業			
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち		施策	3.スポーツの振興
施策展開	③競技スポーツを振興する		後期基本計画	88 頁

1 事業の目的と内容

市民のスポーツ水準の向上、振興を図るため、市民等が各スポーツ大会及び競技大会等に出場した場合の経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

2.当該年度の取組内容(計画)

国、県、公益財団法人日本スポーツ協会の加盟団体(属する専門部も含む。)が主催、若しくは共催し、県大会等以上の予選会を経てその代表として出場する大会とする。

(1) 九州大会 (2) 西日本大会 (3) 全国大会 (4) 世界大会

3.主な活動実績

令和6年度の実績は、50団体・個人、延べ245人が九州大会以上の大会に出場

全国・西日本大会 30団体延べ105人

九州大会 20団体延べ140人

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	1,800				1,800
当初予算	1,800				1,800
決算額	2,493				2,493

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	全国大会・西日本大会	出場選手数	目標値	70	名
			実績値	105	
			達成率	150	
活動指標	九州大会	出場選手数	目標値	88	名
			実績値	140	
			達成率	159.1	
成果指標	全国大会・西日本大会	出場選手数	目標値	70	名
			実績値	105	
			達成率	150	
成果指標	九州大会	出場選手数	目標値	88	名
			実績値	140	
			達成率	159.1	

6.担当課の所見

今後も競技スポーツに取り組む選手、指導者へ九州大会以上に出場する団体・個人への補助金制度を継続し、スポーツ競技意欲の喚起を促して行く。また、全国大会で3位以内に入賞した場合に感謝状を贈呈するスポーツ顕彰制度も併せて活用し支援の充実に努める。

1次評価

25

2次評価

25

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・競技人口や指導者の確保を期待する。
- ・事業発展のため、継続した取り組みを望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	スポーツ推進係
事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業
実施計画事業	総合型地域スポーツクラブ活動支援補助事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	3.スポーツの振興
施策展開	①生涯スポーツを推進する	後期基本計画	88 頁

1 事業の目的と内容

スポーツ基本法の基本理念に基づき、市民が地域における文化・スポーツ活動等の振興を図り、会員及び青少年の健全な心身を育成するとともに、会員相互の親睦通じ、地域の活性化・地域社会の連帯に資することを目的に、必要とする地域に総合型地域スポーツクラブ(以下「クラブ」という。)の設立準備及び育成を図るため、予算の範囲内で補助金を交付する。

2.当該年度の取組内容(計画)

みえスポーツクラブ、おがたいいきスポーツクラブネスト、特定非営利活動法人朝地フレンドクラブの特性を活かした活動計画を策定し会員の体力向上と健康増進を図る。

- (1) 定期的なクラブ活動等の実施
- (2) 年間計画に基づくクラブ行事等の開催
- (3) 会員相互の親睦を図るための行事の開催
- (4) 地域住民のスポーツ活動や地域づくりに資するボランティア活動
- (5) 会員の健康・体力相談事業
- (6) 他の機関、団体などが開催するスポーツ行事等への参加
- (7) クラブの目的達成及び設立準備のために必要な事業
- (8) 中学部活動の地域移行への支援準備

3.主な活動実績

- ①みえスポーツクラブ:23事業を実施、会員数262名
- ②おがたいいきスポーツクラブネスト:14事業を実施、会員数169名
- ③朝地フレンドクラブ:12事業を実施、会員数192名

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	3,150				3,150
当初予算	3,150				3,150
決算額	3,150				3,150

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	目標値	720	名
			実績値	623	
			達成率	86.5	%
成果指標	地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	目標値	720	名
			実績値	623	
			達成率	86.5	%

6.担当課の所見

スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造を基本理念とする総合型地域スポーツクラブの育成支援に取り組むとともに、自立に向けた活動を引続き支援していく。

1次評価

23

2次評価

23

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・各クラブと市が情報交換をする機会が必要である。
- ・スポーツ振興活動のために必要な事業である。クラブは大変苦勞されている。小中学校や各団体と連携し、利用者や会員の増加を期待する。より一層の支援と予算の確保を望む。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	スポーツ推進係
事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業
実施計画事業	スポーツ推進委員		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	3.スポーツの振興
施策展開	①生涯スポーツを推進する	後期基本計画	88 頁

1 事業の目的と内容

スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第32条第2項の規定に基づき、市内7町にスポーツ推進委員を35名配置し、生涯スポーツの推進に寄与することを目的とする。

2.当該年度の取組内容(計画)

スポーツ推進委員は、スポーツの普及・振興を図るためスポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図る研修会を開催するとともに、市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営に携わり生涯スポーツの普及を図る。

3.主な活動実績

地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、九州地区スポーツ推進委員研究大会に2日間で延べ34名参加し資質の向上に努めた。また、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わった。

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	1,750				1,750
当初予算	1,750				1,750
決算額	1,750				1,750

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	推進委員の配置	市内7町に35名のスポーツ推進委員を配置し、生涯スポーツの普及を図る。	目標値	35	名
			実績値	35	
			達成率	100	
成果指標	会議・研修会の開催	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、会議・研修会を開催する。	目標値	12	回
			実績値	10	
			達成率	83.3	

6.担当課の所見

地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、研修会を開催するとともに、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わり生涯スポーツの普及を推進している。また、地域スポーツ振興の担い手であるスポーツ推進委員と相互に連携し、運動部活動の地域展開や人口減少にともなう生涯スポーツの普及の方策など諸課題についても協議を引き続き取組む必要がある。

1次評価

24

2次評価

24

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

- ・スポーツ振興のため、事業の充実を望む。
- ・配置や会議の回数も必要であるが、活動状況を付した目標が必要。

令和6年度 豊後大野市教育委員会事務事業評価調書

担当課	社会教育課	係名	スポーツ推進係
事業	スポーツ施設管理事業	細事業	スポーツ施設管理事業
実施計画事業	大原総合体育館指定管理委託事業		
政策	V.豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	施策	3.スポーツの振興
施策展開	②スポーツ施設を整備する	後期基本計画	88 頁

1 事業の目的と内容

本市における生涯スポーツ活動の拠点として、また市民の健康づくりとスポーツ振興及び世代間の交流活動等を支援する施設として大原総合体育館を設置している。
 管理運営については、指定管理者である「豊後大野市スポーツ振興協議会」に委託しスポーツの普及振興に関する事業推進、施設の適切な維持管理を実施する。

2.当該年度の取り組み内容(計画)

豊後大野市スポーツ推進計画に基づき、市民の健康づくりの拠点施設として健康増進、地域スポーツの振興、スポーツを通じたまちづくりを行うとともに、市民の求めるサービスの向上に努める。指定管理者制度の導入による効率的な施設の維持管理を行い経費の節減に努め利益を追求する。
 ①施設の適切な管理運営
 ②施設の効率的な運営及び利用促進
 ③市民のためのスポーツの自主事業の実施
 ④職員のための各種教育訓練の実施

3.主な活動実績

①プール、トレーニング室 ○施設利用者数 54,011人
 ②体育館、研修室 ○施設利用者数 56,286人 計 110,297人

4.事業計画額・決算額

R6年度	事業費計	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
計画額	30,000				30,000
当初予算	28,500				28,500
決算額	28,500				28,500

5.目標指標の達成状況

	評価指標名	指標値の説明	達成度		単位
活動指標	施設利用者数	プール、トレーニング室、体育館、研修室の延べ利用者数(自主事業を含む)	目標値	121,000	名
			実績値	110,297	
			達成率	91.2	%
成果指標	施設利用料等	施設運営総収入利益	目標値	31,067	千円
			実績値	30,779	
			達成率	99.1	%

6.担当課の所見

令和5年度の利用者と比較すると利用者人数が増加している。今後も利用促進のために関係課と協力して、広報活動の推進、スポーツツーリズムによる合宿や大会の誘致を図っていく必要がある。
 また、総合スポーツ施設の一帯管理に向け諸準備を進める必要がある。

1次評価

23

2次評価

23

令和8年度の事業の方向性	A	現状のまま継続
--------------	---	---------

7.外部評価アドバイザーからの意見

・スポーツツーリズムの推進と、市内のスポーツ愛好者や施設会員の増加を期待する。

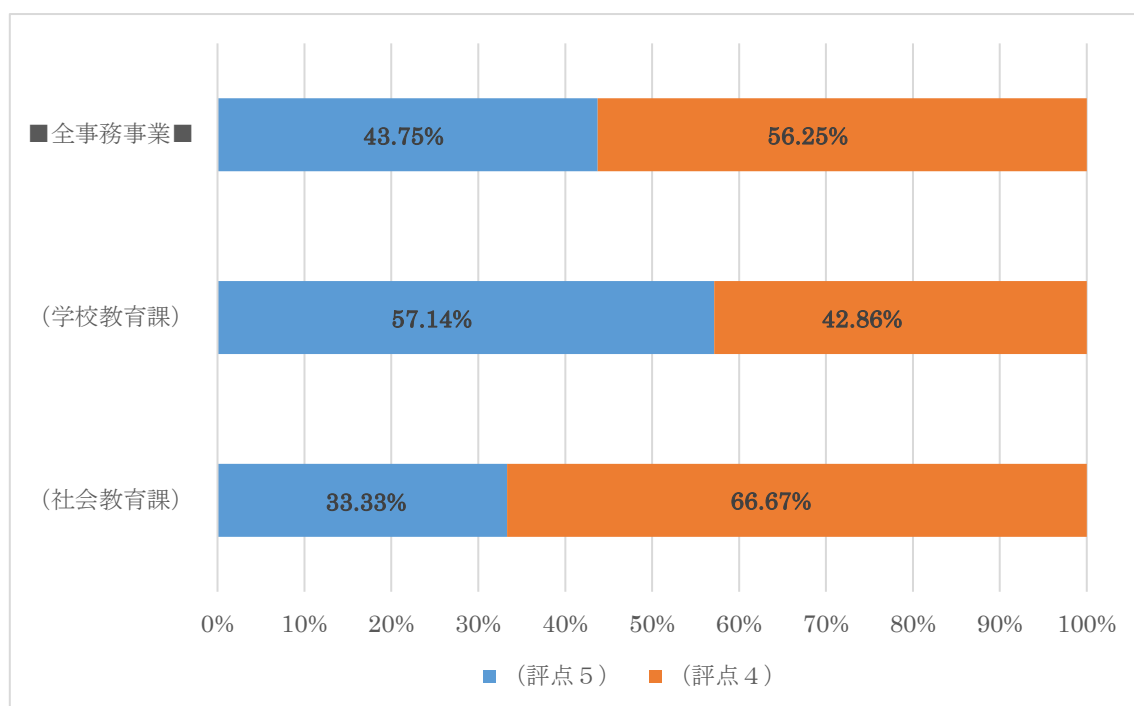
2. 点検・評価結果の分析

(1) 自己点検・評価結果の分析

評 点	評 点 基 準
5	達 成 (25点以上)
4	着実に達成 (20点以上25点未満)
3	やや不十分 (15点以上20点未満)
2	不十分 (10点以上15点未満)
1	抜本的見直しが必要 (1点以上10点未満)

自己点検・評価結果の分析については、成果目標設定がある48事業について、評点を1～5点に整理して分析をしました。「評点5」が21事務事業、「評点4」が27事務事業でした。「評価4」の事務事業については、主管課が事務事業の成果目標を高く設定しているためで、全ての事務事業において、その目標をほぼ達成していると評価しています。

区 分	事務事業数	自己点検・評価結果				
		評点5	評点4	評点3	評点2	評点1
全事務事業	48	21	27	0	0	0
	100.00%	43.75%	56.25%	0.00%	0.00%	0.00%
	(学校教育課)	21	12	9	0	0
	100.00%	57.14%	42.86%	0.00%	0.00%	0.00%
	(社会教育課)	27	9	18	0	0
	100.00%	33.33%	66.67%	0.00%	0.00%	0.00%

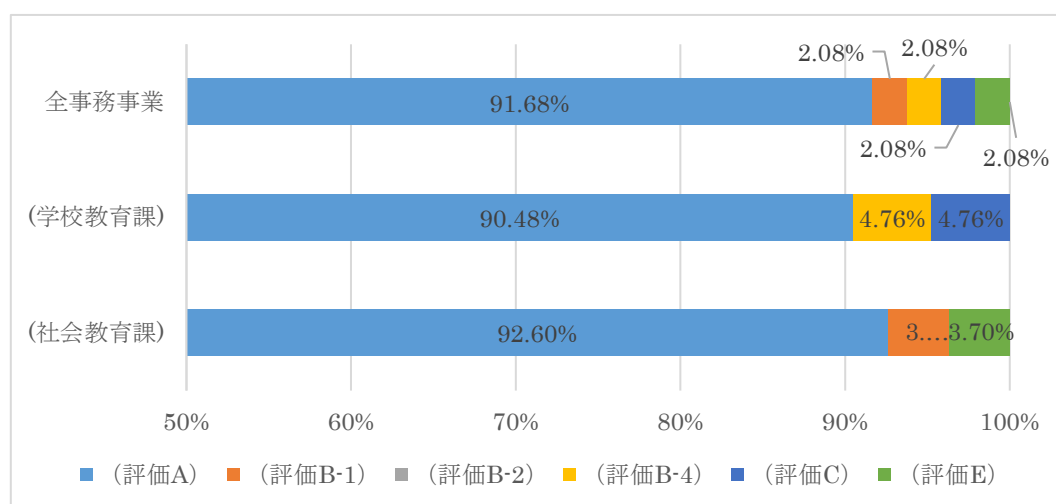


(2) 総合点検・評価結果の分析

評価項目	評価内容(今後の事業の方向性について)
A	現状のままで継続
B-1	見直しの上で継続(拡充)
B-2	見直しの上で継続(手段等の改善)
B-3	見直しの上で継続(効率化・RPA等)
B-4	見直しの上で継続(縮小)
B-5	見直しの上で継続(統合)
C	終了
D	休止
E	廃止

総合点検・評価結果は、「評価A」が44事務事業、「評価B-1」が1事務事業、「評価B-4」が1事業、「評価C」が1事業、「評価E」が1事業でした。自己点検・評価結果を基に、今後の事業の方向性について評価を行い、「評価A」と「評価B」は95.8%を占めており、何らかの見直しが必要であっても継続すべき事業として評価しています。「評価C」及び「評価E」については事業完了や他課への事務移管による発展的な事業の廃止によるものです。今後も、直近の教育情勢を踏まえ、市民の教育に対する信頼と期待に応えられるように、常に見直しの視点に立ち、必要に応じて教育施策の拡充または立案を行い、施策展開していくことが必要です。

区 分	事務事業数	総合点検・評価結果					
		評価 A	評価 B-1	評価 B-2	評価 B-4	評価 C	評価 E
全事務事業	48	44	1	0	1	1	1
	100.00%	91.68%	2.08%	0.00%	2.08%	2.08%	2.08%
	(学校教育課)	21	19	0	0	1	0
		100.00%	90.48%	0.00%	0.00%	4.76%	0.00%
	(社会教育課)	27	25	1	0	0	1
	100.00%	92.60%	3.70%	0.00%	0.00%	0.00%	3.70%



3. 外部評価関係

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、自己点検・評価（内部評価）の後に、以下に記載した3名の学識経験者に、外部評価会議にて外部評価アドバイザーとして、内部評価等に対するアドバイス並びに意見を求めました。

No.	ふりがな氏名	学識経験内容
1	えとう 栄一 衛藤	教育行政経験者（元教育委員）
2	ふじい あや 藤居	教育行政経験者（元教育委員）
3	しんぐう こうじ 新宮 幸治	行政経験者（元市職員）

（敬称略）

■点検及び報告書作成までの経緯

- ☞ 7月 2日 内部連絡調整会議（教育委員会各課へ自己点検・評価の依頼）
- ☞ 7月 23日 教育委員会所管事務事業 第1回外部評価会議
（外部評価アドバイザーに対する各課所管課長補佐・係長による事業概要説明）
- ☞ 7月 30日 教育委員会所管事務事業 内部評価会議
（教育長及び教育委員会管理職による各課の自己点検・評価結果の検証及び総合点検評価確認）
- ☞ 8月 5日 教育委員会所管事務事業 第2回外部評価会議
（外部評価アドバイザーと教育委員会管理職による評価結果の協議等）
- ☞ 8月 20日 教育委員会 第5回臨時会 議案提案・審議

V まとめ

本市教育委員会は、第4次豊後大野市総合教育計画の基本施策ごとに重点施策及び基本方針と目標指標を定め、市長部局の事務事業評価事業と合わせ自己点検・総合評価を地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき実施しています。

また、昨年度の外部評価アドバイザーからの意見を参考にして、各事業の取り組みの実施状況の検証を行っています。学校教育においては、「地域とともにあるヘプタゴン教育～主体的な自己実現をめざして～」を基本方針に、キャリア教育を軸に、地域とともにある学校教育の充実、郷土学の推進や小中一貫教育の推進など学校教育基本方針7つの柱にそって事業を展開しました。特に7つの全ての町で小中一貫教育校を設置する取り組みを進め、9年間の視点で子どもたちの育ちや学びを創造していく小中一貫教育校の特色を生かし、子どもたちの確かな学力の定着や豊かな心身の育成と併せて、保護者や地域の方と一体となって、地域と共にある学校づくりに取り組みました。

キャリア教育では、市にゆかりがあり活躍されている方を招聘した「郷土の先輩特別授業」や「職場体験学習」、「職業講話」などを通して、子どもたちの学校生活と社会生活や職業生活を結び、関連付け、将来の夢と学業を結びつける取り組みを実践しています。

GIGAスクール構想により、学校のICT環境の整備・充実を図るため、6年を経過した教員用パソコン購入350台を更新して、デジタル教科書・教材の増加に対応できるようにしました。

また、給食費に関しては、子どもたちの健やかな成長を支えていくため、急激な物価の高騰に直面している子育て家庭を支援する目的で、上半期まで物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、学校給食費を免除する措置を講じており、下半期からは、小中学校の給食費完全無償化を導入して深刻な社会問題となっている少子化、人口減少対策の一貫として子育て支援施策に取り組んでいます。

社会教育においては、自治公民館を地域住民の「つどい」・「まなび」・「むすぶ」生涯学習活動の拠点として、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して対象事業費の50%を補助しており、年間に22件の改修に対する補助を行いました。

令和4年9月に策定した「豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画」に基づき、多機能型武道場の完成をめざしており、今後も地域のスポーツ振興や市民の健康づくり、スポーツを通じたまちづくりの拠点として地域の活性化に繋げていきます。

また、文化庁の国重要文化的景観に「緒方川と緒方盆地の農村景観」が選定されたことから、『緒方川と緒方盆地の農村景観整備計画』を策定し、地域住民、市民及び来訪者とともに、本重要文化的景観の理解を深め、これまで大切にされてきた地域の文化や暮らしを見つめ直すきっかけとなり、ひいては、交流人口、関係人口の増加を図ることにより地域の活力向上につなげることをめざすものとしています。

図書館管理運営事業では、図書館に来館することが困難な方などに読書に親しむ環境を提供するために、図書館館外配送業務を実施し、市内16ヶ所の認定こども園、保育園、幼稚園、公民館図書室を巡回し読書支援を行うことができています。

全体を通して、学校教育と社会教育が連携しながら、生きがいのある豊かな人生を送るために、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもたちを始めとする市民が安心して暮らせる環境づくりを推進していくよう努めて行きます。

～結びに～

豊後大野市教育委員会では、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする第4次豊後大野市総合教育計画に基づき「地域とともにあるヘプタゴン教育」を目的に各課及び各教育機関の事務事業の成果や課題を具体的に明らかにし、検証するため外部評価アドバイザーからの意見を踏まえ、「郷土を愛し、つどい、つながり、ふれあい、学び合い、次世代へ未来を拓く、豊後大野の人づくり」の基本理念の下、人々が郷土を愛し、集い、繋がり、学び合える教育環境の充実に努めてまいりました。

本報告書に係る点検及び評価は、他市の報告書を参考にしながら別冊として纏めていた事務事業評価調書を一本化して外部評価アドバイザーからの意見を記入するなど簡潔に表し見やすい様式に変更しました。

令和6年度は、市の政策として「持続可能な豊後大野市づくり」を実現するために、これまでに、県内における先進的な取り組みとして、「保育料の無償化」および「子ども医療費の高校生までの無償化」を実施してまいりましたが、令和6年10月からは、「小中学校における学校給食費の完全無償化」を実施し、この3本の柱を軸として、引き続き本市が直面している喫緊の課題であります少子化対策に取り組んでまいりました。

平成26年度から着手しました「連携型小中一貫教育」の研究実践におきまして、小学校と中学校が指導の一貫性を確保しながら、教員の専門性を生かした質の高い授業を実践できることや、異なる年齢集団の日常的な交流活動が、子どもたちの豊かな心の醸成につながるなど、大きな成果を得ることができました。

このことから、7つの全ての町で小中一貫教育校を設置する取組を進めてまいり、朝地小中学校に続き、令和6年3月に千歳小中学校が、4月に入ってから、清川小中学校、大野小中学校、犬飼小中学校及び緒方学園が、それぞれ開校しました。

そして、令和7年度から分散型の「小中一貫教育校」として、三重学園が開校する運びとなり、今後は、小中一貫教育校の成熟に向けて取り組みを進めてまいります。

そのためには、社会教育における地域学校協働活動を推進していく必要があります、青少年健全育成市民会議を核とした地域学校協働本部を設置し、地域学校協働活動推進員を配置することにより、学校運営協議会との連携を強化し、未来を担う子どもたちを地域全体で育む「地域とともにある学校づくり」に取り組んでまいります。

中学校等の部活動は、少子化による部員数の減少及び教職員の働き方改革が求められている中で、中央教育審議会や国会等においても指摘されてきており、これまでスポーツ庁・文化庁においても、部活動の適正化に向けた改善方策や、地域との連携・協働や地域への移行の方向性が示されてきました。令和6年度末時点での部活動は、スポーツ系（文化系含めず）で52部あり、拠点校部活動が14部、合同部活動が11部、地域展開を行ったクラブが5チームとなっています。学校部活動は、生徒にとって、スポーツ・文化芸術活動に親しむことはもとより、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等につながるなどの教育的意義があるほか、学級や学年の異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもあり、生涯にわたって豊かに生きる資質・能力を育む役割を果たしています。今後の中学校部活動の地域展開にあたっては、地域のスポーツ・文化芸術分野の資源を最大限活用しながら、学校部活動の教育的意義を継承するとともに、競技志向のみに偏ることなく、スポーツ・文化芸術活動に親しむことができ、多様な機会を確保し、豊かに生きる資質・能力を育む組織づくりをめざしていきます。

総合的な外部評価アドバイザーから以下のような意見がありました。

全体を通じて様々な事業を行い目標達成率も高いが、活動内容に対する効果や結果に関する分析を整理しながら、次年度以降につながるような報告が必要です。

今後も未来への学びをしっかりと確保し、夢をつかめる力の基礎を育んでいく取り組みいただく中で、計画期間内に事業の実施内容や予算も変化してきます。活動指標や目標も期間中に見直し、変更できるしくみも検討していただきたい。

事業の前例踏襲ではなく、あくまでも主役は、子どもであり地域の方であり「郷土を愛し、つどい、つながり、ふれあい、学び合い、次世代へ未来を拓く、豊後大野のひとづくり」の基本方針に則り、地域で子どもを育てて、そして次世代に、豊後大野市の豊かな未来を引き継いでいけるように祈念します。

全体的な評価及び御意見を踏まえて、令和8年度策定の第5次豊後大野市総合教育計画に反映させてまいります

最後に、本報告書の作成に当たり、多くの御意見と御提言を賜りました外部評価アドバイザーの皆様に深く感謝申し上げます。また、市民の皆様には、この評価結果の公表に対して率直な御意見をお寄せいただくとともに、引き続き教育委員会の各施策に対して御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。